滿洲日報
夕刊
十一月十日

對支共同銀借欵など 机上の空論に終らん
日本としては遽かに應じ難い わが外務當局の觀測

【東京特電十日發】米國が支那の借欵申込に對して自國の海外貿易を活潑にし世界的大不況を打開すべく支那及び印度における銀の購買力回復を機とし日、英、獨、伊等の各國に對し國際會議の開催を提唱したとの報道について外務當局は未だ非公式にもかゝる提案に接せずとして恐らく常例によつて米國上院外交委員會がその採擇方をフーヴアー大統領に勸說した程度に止まるのではないかと觀てゐる、而してかゝる提案があるとしても日本政府としては對支借欵に關する限り、その擔保、使途、監督機關等實附方法に關して相當面倒な手續を要し既に積年の苦い經驗などもあり不幸にして現下の國民政府に對する信用狀態では將來何れの國からこの種の提案ある場合も俄にこれに應ずる譯に行かぬとしてゐる、一方舊臘來幾度か報道されつゝあるヒツトマン氏の對支銀借欵計畫の如きも同國の銀產地方における資本家側の承認を得るに好都合かも知れぬが米國財界の全般的空氣は眞面目にかゝる借欵に應ずることは殆どあるまいとし一度支那の內情に精通する專門家の手に該借欵契約の具體案作成が委されるとすれば結局机上の空論に終る外ないだらうと觀てゐる

支那の輿論は贊成
米委員會の態度に感謝

【上海特電十日發】銀相場は今や自殺的暴落狀態に達し、これが回復は人爲的方法以外には無しと見られ、又これを看過すれば支那は全然苦境に陷り、これがひいては世界の不況を增大するものといはれ、この時にあたり米國上院文化委員會からフーヴアー大統領に對し支那に銀貨貸附を爲すの交涉と更に英國政府その他と交涉し、印度より銀輸出を中止せしめ銀の國際價格を一定すべきことを提議し、支那の財的狀態に回復を與へ、この結果支那の購買力を增し中國貿易を振興すべしといつたやうな意見の發表に對し國民政府及び支那一般の輿論は非常な贊意を表しアメリカに感謝するの狀勢を示しつゝあり

財政問題に對する 貴族院各派の形勢
辛辣な論戰を見ん

【東京特電十日發】政府は今期議會において二百六十餘名といふ絕對多數の與黨を擁してゐるだけに衆議院に對しては實力でこれを押し切るといふ自信は十分に持つてゐるが一方貴族院に對しては多數派の研究會が初め表面是々非々主義を持してはゐるが可成り反政府系議員の活動に動かされて來たものが尠くない形勢であるから休會明けの議會は決して樂觀出來ないものとなし舊臘から今春にかけて江木、渡邊兩相、川崎法制局長官、太田關東長官、政府外の民政系議員たる幣原、伊澤、塚本、松村の諸氏相呼應して形勢を有利に導くべくそれ〳〵關係方面を遊つて狂奔してゐることは屢報の通りである而も休會明けの議會における貴族院の論議は各派の有力者を網羅する豫算委員會において最も熾烈を極むべく殊に歲入豫算の當否において歲入不足を豫想される今日だけに論議の焦點として飽くまでも追窮する事になるだらうと見られて居る、いま財政經濟問題を中心とする貴族院各派の形勢を觀ると左の通りである

研究會　豫算計畫を初め一般財界の施設方針に對する論議が相當白熱すべきを豫想されて居るが就中研究會の如きは前期議會において中小產業者並びに大業者救濟に關する建議案を成立せしめた關係もあるのでこれが結末をつける意味もあつて政務審查部の主力を不景氣問題に注ぎ舊冬各方面に委員を特派して極力調查を行つた程であるが更に今春に入つてもその調查攻究を續行してゐる、斯の如く貴族院に多數を占むる研究會の行動が議會において果して如何なる形となつて現はれるかは未だ判らないが金解禁以後政府の財界對策に對しては他の各派でも辛辣な議論が行はれんとする模樣であるから政府側においても餘程この問題に注意し貴院各方面の諒解を得るやうに努めなければ收拾すべからざる事態に當面する懼れがあらう

交友俱樂部　人も知るごとく政友派議員を以て固めてゐるだけに最も反政府色濃厚で各種の策動が行はれてゐるが交友俱樂部の主張はいふまでもなく現內閣の財界對策失當を極むるため容易に景氣は恢復せず延いて國民の收入も減少し一般に過重の負擔に苦しんでゐる、卽ち國民は事實上增稅を課ぜられると同樣の結果になつてゐるに對し政府の軍縮剩餘財源による減稅は餘りに過少である、同時に減稅種目に對しても異論あるを免がれないとして居る

公正會　では五年度豫算に關し政府が屢々實行豫算の編成替へを行ひ歲入不足に伴ふ收支の辻褄を辛うじて合せた事實に鑑み、且つ財界の實狀から見て六年度豫算においても同じく歲入見積り過大の懸念あるを認め大藏省當局にこれを質す所あつたがその懸念は一層深められた觀もあるので更に議會再開までに各方面について研究し豫算委員會において相當問題を提供するものと見られて居る　其他法案としては問題の勞働組合法案について研究、交正兩派など

世界一のロシヤの支出豫算
行政費のみで三百二十億留

【モスクワ九日發電通】財政人民委員長ブリムコフ氏は本日ソウエート中央執行委員會の決定せる一九三一年度の政府行政費は三百二十億ルーブルに及び政府歲入の三分の二に當り全世界中最大の支出豫算であると發表した、なほ氏は目下全世界の問題となつてゐるロシヤのダンピング問題に言及しその荒唐無稽なることを强調した

內相、與黨幹部等 けさ首相と會見す
對議會策の意見交換

【東京十日發電通】議會休會明けも迫り政界頓に緊張を帶びて來た十日午前濱口首相と安達內相及與黨幹部の第二次會見が行はれた、先づ午前十時半より安達內相が首相に會見、席上首相より議會に臨む政府の陣容に關し種々自己の所信を述べた後

自分は病後靜養のため當分出席不可能なるを以てこの際幣原氏の首相代理を繼續して議會に臨み全閣僚一致これを支持し與黨この連　を密接鞏固にして多難なる今期議會を乘切つて貰ひたい

との意味を述べ正式に幣原首相代理の繼續を要望しこれに對し內相より贊意を表するところあり、內務省所管事項につき報告諒解を求め會談五十分に及んだ、次いで與黨の原、櫻內、森山の院內外總務富田幹事長の四氏は安達內相を交へて引續き首相と會見二十日の黨大會において聲明すべき民政黨の新政策を提示して首相の諒解を求め更に議會に臨む黨の陣容及び方針を述べ我黨は擧黨一致して幣原首相代理を支持し一絲亂れざる統制の下に首相の日頃の教訓を體し二百七十名の絕對多數の威力を發揮し以て議會を乘切る方策が立つてゐるから首相は安んじて療養に努められたいと五氏より交々申述ぶるところあり正午會見を終つた

發明研究の 各團體聯合

【東京十日發電通】俵商相は發明御獎勵の聖旨を本體し各官廳研究機關民間諸團體代表を以て聯合協議會を組織し來る十九日初會合を行ふ事に決定した

……は何れも勞資各方面の意見を徵し殊に資本家側の態度については夫れ〳〵相通ずるものがあるのでこれが政府を躊躇せしめて居ることは、いふまでもない、更に選擧法改正、小作法以下政府の提案を豫想される各種の法案についても各派それ〳〵議會對策としての準備調査が進められて居り、政府は衆議院の如く絕對多數で押切る譯に行かぬだけに何れも一方ならぬ苦心を拂つてゐるが目下の形勢は依然としてその前途樂觀を許さざるものがある

首相官邸の初閣議

政府は十日午前十時より永田町首相官邸において本年度最初の定例閣議を催し……首相代理以下參集の上年末年始に亘る各方面の情報を交換し……協議をとげた、寫眞は……安達內相、俵商相……江木鐵相、幣原首相代理……鈴木書記官長……

軍事費の節約と 陸軍の軍制改革
陸相の態度注目さる

【東京十日發電通】今回の陸軍々制改革に關し宇垣陸相は軍制調查會の對陸軍事費の節約を目的とするものでないと聲明し濱口首相も第五十議會において同樣の答辯をしてゐるが

無產各派　は勿論政、民兩派共軍事費の節約を緊急問題として……この意味で今回の軍制改革に大なる期待をかけてをり殊に從來本問題に關し沈默を守つてゐた貴族院の內にも「事實の節約をなさぬ軍制改革は無意義」として宇垣陸相の聲明に不滿を抱き休會明けを待つて陸相に對し質問戰を展開すべく企圖してゐる向きも……から見ものである

……期待に副ふて更に軍事費の節約せんとすれば勢ひ軍備縮小の一途に邁進する外ない次第であるが今日における我國四圍の狀勢は絕對に軍縮を許さずとは全陸軍の定論であるから陸相が強いて軍縮を無すこともありとせば政治的立場は立つても結局全陸軍の意思方針に反しさりとて軍備縮小絕對反對で押せば議會の民政黨幹部と容れ難く板挾みの態に陷り陸相の態度は……

滿鐵旅館直營方針
實施は來二月からか
事務所長は多分內地から物色

旅館會社の滿鐵直營に就ては既に舊冬拓務省の認可を得たので滿鐵では遡つて一月一日よりの總營業式にするか二月一日より直營とするかについては目下研究中だが直營と同時に設置される旅館事務所の

所長決定　を見た上二月一日より正式直營とすることが今日では最も有力觀されてゐる、而して直營と同時に鐵道部の所管に移し旅客課長が鐵道部長に替つて監督することゝなるが旅館事務所長の權限も鐵道部長より更に擴大して物品の購入等は一切を所長の權限に任せることになる模樣である、而して所長の椅子には、時鐵道部附參事山口十助氏（前奉天鐵道事務所次長）が擬せられゐたるも旅館經營は特殊の技能を要するので多分

內地から　物色するだらうと見られてゐる、旅館事務所の所管に移る各旅館は大連、星ヶ浦、旅順、奉天、長春の五ヤマトホテル、北京扶桑館、五龍背溫泉ホテル、長春滿洲屋旅館、撫順筑紫館、湯崗子溫泉ホテル、天津常盤旅館、熊岳城溫泉ホテル、吉林名古屋旅館、洮南新館、鄭家屯ホテル、四平街平館、鐵嶺松花ホテル、奉天瀋陽分館、遼陽遼塔ホテル、瓦房店綠屋、本溪湖ホテル、安東ホテル、鞍山江屋の家、遼東ホテル、營口……館の十七館列車食堂事務所で遼東ホテルは目下總務部所管にあるが直營と同時に

鐵道部の　所管に移されることゝなつた、なほ湯崗子溫泉及五龍背溫泉は併合して溫泉事務所案もあり、また投資旅館についても種々案があるがこれ等は旅館事務所長の決定後研究することになるらう

日本映畫界を展望する 映畫展覽會開催
十一日から十七日まで一週間 滿日講堂に於て一般無料公開

主なる贊助出品
松竹蒲田撮影所　東亞等持院撮影所
日活太秦撮影所　河合巢鴨撮影所
帝キネ太秦撮影所　滿鐵弘報係誌社係

主催　滿洲日報社

羊角叢談
遼東子

洗兵臺

洗兵臺とは今の櫻花臺のあたりの總稱であつた。今日、大連で何々臺と幾つかの文化住宅の區域があるが、それらは恐らく洗兵臺の臺にちなんで命名されたものではあるまいか。桃源臺、鳴鶴臺などの命名は。

◇

今から十數年の昔である。黑龍會の創立者の一人であつた吉倉汪聖氏、もと朝鮮で國士的の活動をしてゐた當時、釜山に小西行長の洗兵臺とかいふのがあつたのに因み、今の櫻花臺の附近に洗兵臺なる名稱を附したのであつた。

その當時は今日のやうに大連の郊外も開けず、老虎灘街道など逢坂町から先は馬賊やら狸などの出沒があり、單線の電車が辛うじて通つてゐたに過ぎなかつた。從つて洗兵臺邊なども、誠に閑かな丘陵が續き、その上には松や櫟の矮小なのが茂つてゐるといふ郊外氣分の豐なものがあつたのである。

秋から冬にかけ、一ト霜か二タ霜くらゐ來たなと思ふ頃、疎林の間を遊る鳥類、それを洗兵臺の丘陵間にカスミをかけて捕鳥に舌鼓を打たうといふのが吉倉汪聖氏の一ツの道樂であつた。毎年、秋になると旅順から鷹觀王なども遣つて來て參加したものであつた。

◇

吉倉氏は「飛將軍」と稱し、當時遼東紙上に「見聞錄」なるものを毎日缺かさずモノするのであつた。文體は候文であつたが、諷刺もありユーモアもあり、僞骨氣分をきらめかすので有名であつたのだ。

老來、大に圓熟はしたものの、假令いふても國士として鳴った人であつた、一種特有の風格を持つてゐた人である。疎鬚を撫しながら、上衣を脫し、タオルで汗を拭きつゝ「見聞錄」を草するところは全くの「飛將軍」であつたのである。

自分の弟がアメリカから日本へ初めて野球なるものを傳來したといふて自慢してゐたが、自分自身は「野球亡國論」などを書き、遼東社が野球を主催して盛況を極めてゐるなどには何の觀嘗もなかつた風であつた。

◇

洗兵臺にはガラス張りの一室を作り、その中に納まつて目隱りのしたフラスコに日本酒を入れメートル計でメートルをあげてゐたが、それが祟つてゝか、下ノ關で急死したのは何といふても惜いことであつた。私は今の櫻花臺を洗兵臺の名により、永く吉倉汪聖氏を偲ばんとするものである。

東西資本代表の 勞働組合法懇談
十七日內相官邸にて

【東京十日發電通】勞働組合法につき安達內相は舊臘勞資代表を招き……會を開催しその後更に內相と資本家側……會見の結果……により東京側……大阪側……のみの懇談會を開くことゝなり十七日左の諸氏を招待して官邸に……會するに決し十日それ〳〵案內狀を發した

京濱側　團琢磨、鄕誠之助、木村久壽彌太、藤原銀次郎、井上敬次郎、谷口房藏、近藤……
近畿側　湯淺武採、渡邊鐵藏、稻畑勝太郎、片岡……小畑源之助、高柳松一郎……
名古屋側　青木孝太郎……

而して政府側からは安達內相……

英綿業爭議 形勢惡化

【マンチエスター九日發電通】ランカシア一帶の綿業勞働爭議は五日バーンレイ市の織布工三千五百名の罷業以來ますます惡化の形勢に在つたが、當地で善後對策協議中なりしイギリス紡織業者聯合會理事會は九日に至り新式織機による擔當臺數制增加を職工側が飽まで拒否するにおいては聯合會所屬各工場は來る十七日を期し一齊に工場閉鎖を斷行せられたしとの決議をなし各支部に通達したなほ加盟工場の職工數は二十萬人である

商船紐育航路 貨物船新造

【東京十日發電通】大阪商船は紐育航路の貨物船を新造した……ユーヨーク航路貨物船二隻は……

電氣技術者試驗
六年度から大連でも施行
受驗者準備講習會を開催

滿洲電氣協會では電氣主任技術者資格試驗地に大連を追加される樣關東長官および遞信大臣に請願した事は既報の通りであるが今回いよ〳〵六年度から大連で行ふ事に決定し四月初旬第一期試驗、八月初旬第二期試驗が執行される事になつたので同試驗受驗者の便宜のため、協會では二月二日より三月三十一日まで毎夜午後六時より八時まで常盤橋滿電自動車部三階講堂において受驗準備講習會を開催する事になつた右受驗者の申込み講習期間及び講義および講師は左の通りである

一、電機（十時間）遞信局電氣課員小坂有威
一、電氣磁氣及交流理論（二十時間）南滿工專教授濱田篤一郎
一、電氣測定（十時間）遞信局電氣試驗所員藤井正一
一、電氣機械（二十時間）滿電社員小川久門
一、配電（十六時間）滿電社員黑川直方
一、水力發電所（十二時間）滿電社員佃俊雄
一、火力發電所（十時間）滿電社員大島喜一

交涉部各課 事務分掌

分課規程の改正を行つた交涉部では十日附社報を以て各課の事務分掌內規を左の如く發表した

庶務課▲庶務係　印章保管に關する事項、涉外資料蒐集發送の統制に關する事項、文書の收受、發送及保管に關する事項、圖書の整理及保管に關する事項、接待に關する事項、他課係の主管に屬せざる事項▲人事係　人事、共濟、社宅に關する事項、鐵道無賃乘車證及船車割引證に關する事項▲經理係　豫算及決算に關する事項、諸給與金の請求及び拂に關する事項、物品の……

資料課▲政治係　政治その他の涉外資料に關する事項、官商の組合及人物調査に關する事項▲經濟係　經濟關係涉外資料に關する事項▲交通係　交通關係涉外資料に關する事項、電報及他係の主管に屬せざる事項

涉外課▲經濟係　會社關係及その附帶事業の涉外事務に關する事項▲滿山係　會社關係滿山その他の涉外事務に關する事項▲土地係　會社關係土地の涉外事務に關する事項

請求證保管及運用に關する事項、財產の整理に關する事項

市會議長 選擧市會
十七八日頃開く

都合により延期されてゐた大連市戶別割課稅標準規程改正に伴ふ定員議に關する市參事會は十三日午後二時から召集されるがこれと同時に行はれる議長選擧の市會は十七、八日ごろ開會される模樣である

人事

▲松岡吉郎氏（交涉部涉外課事務員）八日附を以て交涉部勤務を命ず
▲英國經濟使節一行　十五日奥地より來連の豫定

大觀小觀

濱口首相けさ與黨幹部と會見、議會策の意見を交換、顏ぶれ元老。

◇

これで首相代理出席問題なんてものは、ケシ飛んで了ふ。

◇

英、米、加等共同して、支那に銀を貸附けるとの說。若い支那にとつては、實に早天の慈雨。

◇

但し、結局は机上の空論に過ぎまいとの觀測が濃らう。

◇

けふ溫暖更に降る。不景氣ほどには身に沁みまい。

天氣豫報

十一日（北西の風）曇模樣 後晴

各地溫度

十日午前十時　九日最低
大連　零下一七、四　零下一九、四
旅順　同一五、八　同一九、三
營口　同一八、七　同二三、五
奉天　同二三、九　同二七、一
長春　同一八、三　同三四、〇

觀測所の記錄を破つて けふは零下十九度九

嚴寒は直に交通機關に祟つて 電車、バスのお客激減

九日零下十九度四分といふ十年振りの酷寒が襲び數日來の暖かさになれた人々を縮み上らせたが、十日午前六時、若草山觀測所の發表によれば更に五分降つて零下十九度九分となり、つひに明治三十七年關東廳觀測所始まつて以來の記錄を破つた――水道管が破裂する、醬油、卵と何もかも凍つてしまひ一家、商店の態であるが、この影響は直接に交通機關の上に現れ、平常四百人前後の乘客ある旅大バスが三分の一減じて九日は二百二十八人餘となり、金州線も二割減、市内バスの日本橋線の如きは約半減の六百人餘といふ惨れな有樣である「これぢや骨の髓まで凍ります」と滿電では貧乏ぶるひをして ゐた、勤め人の多い電車はバス程影響はなかつたがそれでも二割位は減つてゐる見込であると

大連港の防波堤內 遂に氷に鎖さる

厚さ一寸から五、六寸 碎氷に全力を注ぐ

十年目の寒さ、寒暖計の水銀がモウ少しで零點下二十度にとどきさうになつて流石の大連ッ子も度膽を拔かれたらしい、小さく縮まつて一夜を明したが、九日夜中ヒウヒウ吹き募つた北風が十日早曉稍落ちたと見ると大連港防波堤內は完全に凍つてしまつた、ロシヤ町海岸から西埠頭にかけグツと陸地に沿つて彎曲した五六寸の氷の層を見せてゐたものが今朝は既に本港を陷いれ港內に白々しい氷の面を曝した、信號臺から第一埠頭の邊は六七寸の層を見せてゐると云はれ一面に一寸から二寸の氷がピッチリ張つた、裂目から冷たい海水が蒼い凄みをのぞかせてゐる、繫留中の船舶の船腹は眞白な氷柱のスダレを下してゐる、この間を滿鐵の碎氷小蒸汽が右往左往して碎氷に

全努力を注いでゐる、滿鐵埠頭からは關根海運長等の一行が結氷狀態の視察に出動する、滿鐵築港事務所に結氷狀況を尋ねると

私達の知つてゐる範圍でもコンナに寒いのは珍らしい、今朝けふ完全に港內は凍りましたよ、一昨年は十二月二十二日に港內の薄氷を見ましたが當時はまだ航行に不自由を感じない程度でした、そして昨年は一月二十日に結氷を見ましたが、一昨年にしろ昨年にしろ漸次凍つたもので今年の樣に一夜に凍つてしまふなんてことは珍らしい事です

ロシヤ町方面は 車が通れる

戎克の西崗集中豫想で 一騷動持ち上るか

ロシヤ町海岸が凍つて同方面の戎克貿易がピタリと止まつたが、十日の情報によると目下五十三隻の戎克が氷の爲に閉ぢ込められ二進も三進も動きがとれぬ有樣で戎克の立往生は盛觀だが春風が立つまでは出港出來まいと、既に氷上をゴロゴロ車が通つてゐるが完全に凍つてしまつたらしく今後戎克は西崗に集まるだらうが、これによつて西崗は時ならぬ大混雜で狹隘な箇所に魚市場のポツポツ發動機が八十隻許り、滿鐵の小蒸汽が約三十隻、それに戎克が來られては迷惑するといふので一部に割り込む(?)滿鐵埠頭並に海務局邊りでも取締に頭をなやましてゐる

結氷した大連港內

葉山沖に 海草御採集

御避寒の聖上

【鎌倉九日發電通】葉山御用邸にならせられた天皇陛下には九日午後一時三十分和船に召され葉山沖に出でさせられて二時間餘寒風吹く中を御研究用の海草を御採集の上御機嫌うるはしく御用邸に入御遊ばされた

ボラが 浮きあがる

寒冷と凍氷のため港內一帶に冷たい氷の層を見た大連港內一帶に今年もまたボラがカンカンになつて浮き上つたので苦力連大よろこび、小蒸汽の乘組員までが竿をのばして拾つてゐる、寒さのためボラが浮いたのは一昨年の二月あつて以來の事だと埠頭者は噂つてゐる

郵便物は陸路 甘井子に輸送

嚴寒な寒氣のため海上が氷結して甘井子通船は航行不能となつたので十日より三月一杯の間郵便物は滿電バスに搭載輸送されることとなつた

素晴しい寒さ

【ハルビン特電九日發】十年來の寒さといはれてゐる北滿各地、九日の溫度は左の如くである

滿洲里零下三十七度▲ハイラル同四十五度▲齊々哈爾同三十三度▲哈爾濱同三十三度▲ボグラ同二十八度▲夏城子同三十三度

けふ、關門地方 荒れに荒る

咫尺を辨ぜぬ大吹雪 出入港船難航の有樣

【門司特電十日發】關門地方は九日の夜半より西の暴風雨となり更に大吹雪と變じ十日未明より時々咫尺を辨ぜぬ吹雪の有樣で石炭荷役を止めて十一日早朝、門司に入港すべき筈の郵船太和丸は玄海灘で時化に會つたのか、何處に避難して居るのか消息不明である、また朝鮮第二十師團に入營する壯丁一千三百五十名を乘せ九日午後四時下關を發して釜山に向つた陸軍御用船神戸山本汽船の南華丸(四千トン)は夜半、玄海灘の暴風雪に逢つて行方不明となり運輸部門司出張所では夜半から今朝にかけ盛んに無線電信を發して同船の所在を搜査中であるが不明である また九日朝下關發釜山に向つた關釜聯絡船昌慶丸は釜山近くから引き返したが十日午前三時天候恢復の模樣となつたので玄海洋上でまた釜山に向つたとの情報が四時に門鐵局へ報告された、神戸から十日門司に入港し上海に向ふ氣波丸は瀨戸內海で暴風雪のため山口縣中島沖に避難して居る、九日午後五時下關發朝鮮麗水に向つた第七原田丸も夜半に玄海灘から下關に引き返した、關門間の關門汽船は杜絕 海峽內は怒濤逆卷く有樣で辛うじて鐵道の關門聯絡船が時々風雪のあひ間を見て通つて居るが艀船、初時化である

大和丸六連に 無事到着

上陸氣遣はる

【門司特電十日發】朝九時過ぎまで消息不明で非常に氣遣はれてゐた石塚臺灣總督の乘船せる郵船大和丸は午前九時二十七分六連に無事着 て直に門司に向ふとの無電が達したので安堵されたが、同船が風雪を冒して門司に入港するともランチは下ノ關側に艤裝して居り、港內怒濤逆まく有樣なので門司側からは絕對に本船と交通が出來ない、然るに石塚總督は上京を急いで居るのでランチを下ノ關から出して乘客を上陸させるべく手配中である、尚辛うじて運航してゐた鐵道省關門連絡船も午前九時五十五分から運航杜絕した

昌景丸釜山に入港

【釜山十日發電通】昨夕六時半定時入港の昌景丸は大吹雪にて一晩中對馬海峽をさまよひ續けたが今朝八時十五分漸く釜山に入港した

南華丸の消息判明

【釜山十日發電通】御用船南華丸より釜山運輸部への無電に依れば同船は今朝五時沖の島北ノ十五浬のところを釜山に向け航行中、早朝釜山着の見込だと

大阪港も 大荒れ

九隻行方不明

【大阪十日發電通】阪地方は昨夜來十五メートル三の突風襲來し大阪港は大荒れで午前七時曳船第二和歌丸が四隻を曳き神戸に向ふ途中、北關門中で難破し乘組員十四名中四名が激浪に呑まれて行方不明となつたほか南關門附近では船名不詳の帆船一隻沈沒し乘組員全部五名行方不明となつた

歐洲派遣氷上選手 豫選大會火蓋切る

五百米に奉天の河村 五〇秒の記錄を出す

歐洲派遣氷上選手豫選大會は十日午後一時から奉天の國際グラウンドのスケートリンクで五百米突から擧行成績左の如し(奉天電話)

五百米

吉岡 正隆(安東)五三秒七
石原 省三(安東)五〇秒一
河村 泰男(奉天)五〇秒
木谷 德雄(安東)五一秒
小池 富(奉天)五六秒一 四百四十米邊りで一度つまづき手をつかへる
大澤 義一(安東)五〇秒八
池見 正信(大連)五一秒九 ゴール前で顛倒してそのままゴールに入る

右の結果により第一河村、第二石原、第三大澤、第四木谷、第五池見、第六吉岡、第七小池となつた 記錄の惡いのは氷が硬過ぎた結果による 問題の石原が河村にタイムの上で敗れたのは河村がコーナーの疾走上手の結果による

竈のカラクリで 籠拔け詐欺

マンマと引かゝつた 西崗街の阿片屋

竈を使つて見事籠拔詐欺をやつた一九三一年劈頭のナンセンス犯罪――九日午後二時ごろ市內西崗街一三五阿片小賣所德成號こと吳雨亭かたへ一名の支那人が訪れ、紅皮子(生阿片)二十個を注文し代金は惠比須町の宅で支拂ふから店員を寄越してくれと

申込み 吳方では店員王發(二〇)に右生阿片を馬車に積ませ該支那人と同乘せしめて惠比須町二〇八の十二號なる家の前に至つたところ、該支那人は其家の前に待たせた一支那人にその生阿片を手交しこれを屋內の竈の上の罐ろと稱して何處かへ立去つたので王はやうやく該支那人の擧動を怪しみ生阿片を入れた罐を檢べて見ると罐には

眞ツ赤な見かけ倒しで底なしのまま罐に穴を明け更に戶外への通路が作られ罐に入れた生阿片は罐から戶外へ自然に籠拔けるといふ巧妙な方法だつたことが判つたので吃驚仰天し此旨小崗子署へ屆出た、小崗子署では近ころ稀なナンセンスで計畫的な詐欺事件として犯人嚴探中である

沙河口料理店が 玉代還元か

藝妓連の斷然反對に 頭を惱ます樓主連

「私達を侮辱するにも程がある」と憤然憤慨して滿洲最初の藝妓ストライキを行はんとして樓主連に一大恐慌を與へた沙河口料理店の藝妓花代値下げ問題は、その後樓主間において種々協議を行つて居つたが、一日樓主連名のもとに値下げを聲明した以上、內部よりの反對のため直に元の十圓に還元することも出來ず各樓主は目下惱みの態で、一部樓主は既に過般の聲明を破つて密かに元の料金をもつて營業を持續して居るものもあるが、他樓主連 當分の間何等かの方法を講じて大連、小崗子とのバランスを取ることとし行く行くは元の料金に還元する模樣である

吉倉汪聖氏の 追悼會執行

本社前社長吉倉汪聖氏は下關市長崎町東方司二〇六五番地において老病を養つてゐたが舊臘三十日午前十一時他界した、遺族は未亡人のほか長男大一、二男守人、長女久子、二女都滿子、三女文子、四女衣子の七人である、大連にては滿日社友會および滿日社主會の下に來る十二日午後四時若草山本派本願寺關東別院において追悼會を相營み故人生前の知友相會して故人の追善を修する筈である

金鯱城 一般に公開

二月一日から

【名古屋十日發電通】畏き邊りから御下賜に撥つた名古屋市の名古屋城公開問題につき九日名古屋城保存監理委員會は天主閣及び外苑を準備成り次第に開放して天主閣は三十錢、外苑は十錢の入場料を徵收する方針を決定した、市會の承認を經て二月一日より實行の筈である

全國料理業大會 正副委員長決る

豫算編成に苦しみ 前途波瀾を豫想

大連三業組合では本年五月開催される全國料理業大會の委員長を巡り、白川派の策動から菊田鉢之助氏が委員長受諾を拒絕して以來、人物難に陷り、開期が迫するも大會準備に着手せず、大會の前途を危まれてゐたが、九日午後三時役員會を開いて協議の結果、一時荷が重すぎるといつて辭退した白川淳氏を委員長、田中藤太郎氏を副委員長に推すに決定、兩氏受諾を得たので近く委員の指名及び大會豫算の編成等を行ふ筈であるが、菊田派は白川氏の委員長に不平の色あり前途波瀾を豫想されてゐる、なほ三業組合では今回の大會開催に當つて滿鐵及び關東廳から相當補助を仰ぐ意嚮で近く運動を開始する筈であるが、滿鐵は收入減の折柄であり、關東廳は豫算緊縮の際であるから多く補助金を見込むは不可能とされ目下豫算の編成に苦しんでゐる

「騷ぐと殺すぞ」 白晝、向陽臺に强盜

炊事中の人妻を剃刀で脅しつけ 十圓を奪つて逃走

松飾りもまだとれぬ正月十日の正午下り、網の目のやうに張りめぐらされた嚴重な大連署の警戒網を破つて白晝堂々と人妻を脅迫して金品を强奪した不敵の强盜が市內向陽臺に現れた、十日午後零時三十分ごろ向陽臺二六、沙河口水源地滿電事務所監督安原文哉の妻松枝(三二)が折柄晝飯の仕度をするため臺所で立働いてゐたところ炊事場窓口から躍り込んだ年齡卅七、八歲位の怪支那人が剃刀樣の兇器を振りかざし驚きあはてる松枝の頭髮を鷲づかみにして喉ぎわに押しつけ「騷ぐと殺すぞ!」と凄文句を並べて脅迫したので、松枝は「亂暴しないで――金は上げるから」と嘆願し有合せた五圓札一枚に一圓札四、五枚を取交ぜて現金約十圓渡すと賊は頷いたまま再び何處かへ逃走した、初音町派出所から屆け出に接した大連署では刑事課と協力して現場臨檢を爲し犯人搜查に努めてゐる

いよいよ今夜七時から 嵐寛壽郎と劍劇の夕

會券は協和會館入口で發賣

主催 滿洲日報社

小刀で喉を突き 五十男自殺

神經衰弱が昂じ厭世 けさ沙河口醫院で

市內霞町六一番地滿鐵大連工場見張係竹下德太郎(五二)は花柳病にて大連醫院沙河口分院に入院、十日午前七時頃第一病棟男子便所內において刃渡り一寸五分、折たたみ式小刀にて左喉部を搔き切り自殺を圖つたが死にきれず更に自分の舌に小刀を突き刺し苦悶して居るのを病院の者が發見、直に應急手當を施したため生命は取り止めたが全治までには約三週間を要すると、原因は家庭的に惠まれず最近神經衰弱が昂じたため厭世自殺を圖つたものらしい

就寢中に御難

市內惠比須町四四自動車運轉手坂口宗雄は八日午後十一時ごろから翌九日午前 時ごろまでの就寢の間に枕元においた現金二十四圓五十錢を何者かに窃取せられた旨小崗子署に屆出た、犯人は同居中の鮮人金忠壮(二〇)の所爲らしく小崗子署で取調中

外套を盜まる

九日午後北大山通八瀨戶口直助(四〇)は中央電話局二階で脫ぎ捨てて置いた外套一枚(時價五圓)を何者かに持ち拂はれ、大連署へ屆出た

元滿洲日報社々長 倉江聖氏は豫て病氣の處客臘十二月三十日午前十一時十分關東州自宅に於て逝去被致候に就ては十二日午後四時市內若草山西本願寺に於て追悼會相營候間社友並に生前辱知諸君の御來會希望致候
右謹告候也
昭和六年一月十日
滿洲日報社
滿洲日報社友會

侠艶一代男 (159)

米田華紅作 伊藤幾久造畫

喧嘩買入瓢簞床(九)

加州藩の大塚源十郎を押へつけた濡板へ腰をかけた瓢簞床の爺は、のべの煙管ですぱりすぱりと煙草を飲み始めた。

「お、おのれッ!うむ……武士を……武士を……」

源十郎がさうに身をもがくのを眺め

「ジタバタするな、手前を生かさうか殺さうか思案中だ。騒ぎ立てるさ、折角崩しかけた慈悲な佛心がフッ飛んでしまふぜ」

相變らず、薄く射す冬の陽を鍋に浴びながら、白い煙を空へ吐いて居つた。

「どうせ老先のねえ俺の身だ。一世一代、華の仕舞に、手前を冥途の道連れ、三途の川から閻魔の廳まで持ち越して、喧嘩の素し返しも惡くねえと考へてゐるのだ。言葉訛から見ると、三びん!お前は加州ッぽだな。この間、酉の市の晩、廓で血迷つた四 連れの惡侍さ、大方一味徒黨さやらの町人泣かせの連判組だらう」

「親方!その通りでございますよ。彼奴等の連判組で、廓で毛虫のやうに嫌はれてゐる加州さま抱へ、火消の取締り大塚源十郎さ云ふ惡い奴でございますよ」

いつか、か組の龍吐水持ちの金次が溜飲を下げて、ニヤくと笑ひながら、輕蔑な眼で源十郎の方を見ては、小馬鹿にするやうに嬲つて居つた。

「加賀藩の取締りか?」

「さりさは飢次のれえ奴ぢやござんぜんかれ、大濱の眞中で無禮書間、親方に濡板で叩き伏せられ、身動きの出來れえやうに押へつけられてゐるたこさが、百萬石の殿さんのお耳に入つたなら、そ、儘では濟みますめえよ。吉原で喰ひ酔つて、いつぞや血の雨を降らせた四 連れと同じ、切腹もんでござんしやうれ。四谷鹽町の火事このかた、此奴には深え恨みがあるんで、清吉哥イがあの傷を受けたのも、みんな此奴の指圖から出たこさなんでさア。いつかは屹度ひでえ目に遭はして呉れやうさぢつと纏へてゐたんだ。あつ…は本當に胸のつかへが下りて、さばくとしたい氣持になりやしたよ。清吉哥イがこの態を見たなら、どんなに悦ぶか知れやしません」

金次は心から嬉しさうに、口輕くべらくと立て續けに語して居た。

「さうか?清吉さんを嫌つた御本人か?」

「へえ、この野郎!本當に根性のよくねえ奴でれ。女に振られた遺恨に思ひ、さんでもねえ面違えに筒先を向けて來やアがつたのでござえますよ」

「さう聞いちやなほの事、不愍をかけるにや當られえ。この儘、嚇し者だ」

瓢簞床の爺がごつかと腰を落ちつけ、身をもがいて、脱れやうとあせる必死、源十郎へ薄笑ひを流した。

「床屋!無、無禮を致すな。拙者を何と心得居る?武士に……武士にかゝる侮辱、奥へ、その儘に相濟むと思ふか?退けッ!退けッ!」

苦い聲を絞つて脅しつけた。

「濟むか濟まねえか、あつしの知つた事ぢやねえよ、退きたけりや勝手に退くがいゝやれ。お前は武藝が表看板の侍、斬つたはつたは得意なお手のものさ。あつしは床屋の職人、賣られた喧嘩は買ひ込むが、朝から晩までお他人さまのちよん髷をいぢくつてゐるしえ奴だ。何も遠慮はいられえ。立派なお武家の髷に、大道へ鉢ののめつてる事アあるめえ。さ…と行つたらどうだ?」

「そ、そこを退けつ!」

大地へ擢りつける顔を拮つたんだ。

「退けつ!とは豪勢なお言葉…退きたけりや、お前一人で勝手に退きな。あつしは挺でもこの…はあげれえからね」

うわつさ遡りを鍵む黒山の人から意味の無い歡聲が揚つて…を掻きわけ

「はい御免!御免なせえましよ」さ、か組の纏持清吉が、その場へ飛び込んで來た。

この券持參者に限り左の如く優待割引します

▲帝國館 階上 六十錢 階下 五十錢 (十一日から十四日まで)
▲大日活 階上 七十錢 階下 五十錢 (十日から十六日まで)
▲浪速館 階上階下 七十錢均一 (十日から十五日まで)
▲演藝館 階上 四十錢 階下 三十錢 (十一日から十七日まで)
▲寶館 階上 五十錢 階下 三十錢 (十二日から十六日まで)
▲常盤座 階上 七十錢 階下 五十錢 (十三日から十九日まで)

滿日映畫デー 讀者優待割引券

主催 滿洲日報社

この券持參者に限り左の如く優待割引します

▲帝國館 階上 六十錢 階下 五十錢 (十一日から十四日まで)
▲大日活 階上 七十錢 階下 五十錢 (十日から十六日まで)
▲浪速館 階上階下 七十錢均一 (十日から十五日まで)
▲演藝館 階上 四十錢 階下 三十錢 (十一日から十七日まで)
▲寶館 階上 五十錢 階下 三十錢 (十二日から十六日まで)
▲常盤座 階上 七十錢 階下 五十錢 (十三日から十九日まで)

滿日映畫デー 讀者優待割引券

主催 滿洲日報社

三映畫館から 滿日映畫デー

本日から讀者優待をする 帝國館 大日活 浪速館

本社主催の第一回滿洲映畫週間に贊同して市内六映畫館全部の參加を得て今十日を皮切りに滿日映畫デーを開催し本紙刷込の優待券持參者に限り既報の如き料金にて割引することゝなり全市の映畫ファンの映畫愛好熱を高めてゐるが、今十日から滿日映畫デーを開始したのは帝國館(十四日まで)と大日活(十六日まで)と浪速館(十五日まで)の三館である

帝國館 は松竹キネマ蒲田撮影所の現代劇特作品で名監督牛原虚彦の渡歐記念映畫として製作され近來の傑作として内地に於て二週乃至三週續映をなした鈴木傳明、田中絹代、岡田時彦の顔合せが興味をそゝる「若者よなぜ泣くか」前篇を呼物に京都作品高田浩吉主演「御家人ばやり」と松竹現代劇花岡菊子主演「あら大漁だね」を上映し松竹映畫で人氣を集めてゐる、これに對して日活映畫の

大日活 は九日まで前史を上映して好評を博した日活時代劇特作品である伊藤、唐澤、大河内の名トリオによる「興亡新選組」後史を續映し現代劇映畫は長倉祐孝監督の「新東京行進曲」を上映するが、これは流行小唄新東京行進曲を映畫化したもので入日方傳助演してゐる、これにロイドの「摩天樓」を配し日本畫二本、洋畫一本のプロである、この松竹、日活映畫に對抗し

浪速館 は東亞キネマを以て陣容を固め嵐寛壽郎、木下双葉一行の男女優の舞臺挨拶で人氣を煽り映畫は東亞時代劇特作品後藤岱山監督、嵐寛壽郎、原駒子主演「忠次笑へば」と時代喜劇和田君示主演「勘太と久太」に現代劇はみどり雅子主演の「朗かな人生」を組んでゐるが、嵐寛壽郎の舞臺挨拶は主演映畫「忠次笑へば」と共に時代劇ファンにとつては興味をそゝるプログラムであらう

鞍馬天狗 完結篇 大佛次郎の原作を映畫化したもので愈よ完結篇となり後藤岱山監督、嵐寛壽郎、原駒子主演の東亞キネマ時代劇特作品【十一日から歌舞伎座で嵐寛壽郎の實演と同時上映】

忠次關東大殺篇 村越章二郎監督の河合映畫時代劇特作品二十卷、主演者は葉山純之輔で松本榮三郎、雲井龍之介、松林清三郎、五味國枝、琴糸路その他オールスターキヤストである【十一日から演藝館で滿日映畫デー上映】

歌舞伎座で劍劇實演

嵐寛壽郎一黨

本日入港の香港丸で來連した東亞キネマの幹部俳優嵐寛壽郎、木下双葉の一行十六名は上陸後直に濱演舘にて舞臺挨拶をなしたが、明十一日から五日間毎夜六時から歌舞伎座に於て實演をなすがプログラムは東亞時代喜劇和田君示主演「合點騒動」同現代劇椿三四郎主演「ナイフを掴んだ女」時代劇特作品嵐寛壽郎主演「鞍馬天狗完結篇」を上映し實演は嵐寛壽郎一黨の勤王美談「幕末」二場を上演し、入場料は一圓均一であると

「火中の勇姿」十一日封切

滿洲消防新報社で製作した防火宣傳日支親善映畫「火中の勇姿」九卷は十一日晝夜二回協和會館に於て封切會を催すと

ラヂオ

大連 JQAK 一月十日午後七時

▲ラヂオ體操
▲ハーモニカ獨奏(イ)ファストゥルジヤーマーチ(ロ)ランシングインザバーン(ハ)ダニューブワルツ 増本京平
▲長唄(娘三番叟)三田光三會社中 唄五郎、同三龍、三味線…丸、同二朝、笛浦田四郎、田中傳兵衛、小鼓千代龍、大鼓三代菊、太鼓信千代
▲狂言(松囃子)シテ萬歳太郎上田他吉郎、アト有徳の者弟松本謙次郎、小アト有徳の者兄龜川音吉
▲地唄(尾上松)三絃稲水大勾當、尺八名和榮次郎
▲支那唱(翠平山)唱陳筱紅、師付王振永
▲職業紹介事項
▲天氣豫報

東京 JOAK 一月十日午後六時二十五分

▲趣味講座(師の三番叟に就て)九重左工
▲入營状況(今日から軍人)原作並放送 陸軍省新聞班 陸軍砲兵大尉淺野一男、脚色並説明歩兵第三聯隊陸軍歩兵大尉并津敦、音樂陸軍戸山學校軍樂隊 指揮辻順治、他に歩兵第三聯隊下士卒等
▲連續講談(笹野權三郎第三席)大島伯鶴

コドモページ

冬の理科

風が吹くとなぜ寒く感じるか

太郎さんの質問

ある寒い日の朝です、戸外には氷の刃のやうな寒風が物凄くうなつてゐました、そしてアカシヤといふ木ははげしく梢をゆすぶり黄色い砂ほこりは戰場の砲煙のやうにパツと揚つて街路を眞一文字につきぬけてゐました、窓ガラスには一枚のこらずカチ〳〵した氷の花が咲き、水道は時々止まらうとしました。しかしストーヴを焚いてゐるお部屋の中だけは春のやうに暖かでした、太郎さんは顔を洗つてしまふといつもするやうに窓のところに行つて氷の窓を透して外をながめました

太郎　お父さん、今日も亦ひどい風が吹いてゐますよ

父　アカシヤの枝が隨分揺れてゐるやうだネ

太郎　窓硝子がこんなに凍つてゐるから乾度外は寒いでせう

父　一昨日は零下十九度だつたさうだが、零下十九度などといふのは大連では珍しいことだ

太郎　大連でさへこんなに寒いのだから叔父さんの行つてゐるハルビンなどはどんなに寒いかわかりませんね

父　ハルビンの此頃は大てい零下三十度を越えてゐるが然し大連のやうにひどい寒さは感じないさうだ

太郎　それはどうしてですか

父　風がないからだ

太郎　風があるとどうして寒いのですか

父　それは斯うだ、水分が蒸發する時には熱を奪つてゆく、そこで人間の身體からは常に水分が蒸發してゐるが風が吹くとよけいに熱を奪つてゆくから寒さは一そう強く感じるのだ

太郎　寒暖計も風が當ると温度が下りますか

父　寒暖計は表面から水分を蒸發しないから風が吹いても空氣の温度以上には下らないが、寒暖計の水銀のところを絶えず水で濡らしてゐると蒸發熱を奪はれるから温度がぐつと降つてくる

太郎　手をぬらして風の吹くところに出るとぬれたところが寒いのも蒸發熱が奪はれるからですね

父　さうだ〳〵、皮膚にアルコールを塗つた時に其の部分が寒く感じるのもアルコールの蒸發によつて熱を奪ふからだ

太郎　何でも蒸發する時には熱を奪つて行きますか

父　さうだ、特にアンモニアなどは蒸發する時に甚だしく熱を奪つてゆくからその理くつを應用して製氷にはアンモニアの蒸發を利用してゐる

兎に負けては——と龜君達が

海岸に集つてランニングのけいこ

「モシモシ龜よ龜さんよ、世界の中でおまへほど、歩みののろいものはない……」なーんて言はれるのは癪だ、俺達の先祖が兎と競走をした時には幸ひ兎が油斷をしたので勝つことが出來たが、兎がいつも油斷をするとはかぎらない、とにかく僕達は先づランニングの練習をして兎からいつ競走を申込まれても負けないやうにして置かねばならないとあつて、ある日龜君達が海邊に集りランニング競技會を開きました

オハナシ

アカシヤトデンシンバシラ

ヨウイチロ

マチカド ノ デンシンバシラ ガ、ヒカラビタ ソラ ヲ ミアゲナガラ、キタカゼ ニ フキサラサレテ、ウンウン ウナツテヰマシタ。

ヤセテ ホネ バカリニナツタ アカシヤ ガ、デンシンバシラノ ハウ ニ カホヲ サシノベテ ハナシカケマシタ。

「キミ ハ、ズイブン ウナツテヰルガ カゼ デモ ヒイタノカネ」

「コウサムクチヤ、カゼモ ヒクサ、ホントウニ フユ ハ イヤダ、イヤダ」

アカシヤ ハ オカシクナリマシタ。

「キミ、ハ オホキナ カラダヲシテ、マチノ カドニ ガンバツテヰルクセニ、ミカケニヨラナイ ヨハムシダネ ボクナゾ ハ スコシグラヰ サムクトモ ビクトモシナイ」

デンシンバシラハ ダマツテ ウナリツヅケテヰマシタ。

アカシヤ ハ イヨイヨ トクイニナツテ カラダ ヲ フリナガラ。

「ネ、キミ ノ ヤウニ カラダ バカリオホキクテ ヤクニタタナイモノヲ ウドノタイボク トイフノダ ボク ナドハ ハルニ ナレバ アヲアヲトシタ メヲ ダシ、ナツニ ナレバ ニホヒ ノ ヨイ マツシロナ ハナ ヲ サカセル ノデ マチ ヲ トホル ヒトビト ハ ミンナ ボク ヲ ホメテクレルヨ、モウ フユ モ ハンブンバカリ スギタ、タノシイ ハルガ モウ チカイノダ、ドウダ ボクガ ウラヤマシク ハナイカネ」

アカシヤ ハ イダケダカニナツテ シヤベリツヅケテヰマシタ シカシ、ソレデモ デンシンバシラ ハ ダマツテ ウナリツヅケマシタ。

ヤガテ サムイ フユモ スギ、ハル ニ ナツテ アカシヤ ガ アヲアヲ トシタ メ ヲ ダス コロニ ナリマシタ、アカシヤハ「ドンナモンダイ」ト イハヌバカリニ ダンダン デンシンバシラ ノ ハウニ エダ ヲ ノバシテユキマシタ、アカシヤ ノ ハ ハ イヨイヨ シゲツテキマシタ、ソシテ、デンシンバシラ ハ シゲツタ アカシヤノ エダデ カクサレサウニ ナリマシタ。

「ドウダイ」

アカシヤ ハ イヨイヨ トクイ ノ ハナ ヲ ウゴメカシマシタ

ソロソロ ハナヲ サカセヤウトシテヰル アルヒ ノ コトデス、クロイ ツメエリ ノ フク ヲ キタ フタリ ノ コウフ ガ ナガイ ハシゴ ヲ モツテ ヤツテキテ、アカシヤ ノ シタ デ アシ ヲ トメマシタ。

「コノ アカシヤ ガ ジヤマ ニ ナルネ、キツテシマハウ」

フタリ ハ アカシヤ ニ ハシゴ ヲ カケ、シゲツタ エダヲ カタハシカラ キリオトシテ マルボウズニ シテシマヒマシタ。

デンシンバシラ ハ ハダカニ ナツタ アカシヤ ヲ ミオロシテ コヱ タカク ワラヒマシタ シカシ アカシヤ ハ ダマリコクツテヰマシタ。

童謡　美しい町

大石橋　松本俊雄

粉ぬかのやうな
きり雨が
凍つたまちの
美しさ

まがきのいばら
裸木も
みな〳〵白い
花ざかり

ならんだ家は
玉造り
しろがね色の
まどもある

ぼろ〳〵服の
ニーヤまで
おとぎのまちの
人のやう

懸賞童話（乙賞）

輝かしい朝

天野　薫

鳴になると、ほつかりと水蜜の花が開く樣に、あたゝかなお床の中で、芳雄君は眼をさましました

ざゝゝゝゝ——と、今日も崖の下では海が鳴つて居ます。その音を聞いて、「いゝお天氣だな」と思ひました。もう永い間聞きなれた音ですから、それはすぐにわかることなのです。

鴨居に下げられた鳥籠の中ではコトリ、コトリと、かすかな音がして居ます。鳥がひよいひよい止まり木にとびうつる音なのです。その鳥は、昨年の秋燈臺に頭をぶつけて、怪我をして居たのを、妹の綾さんが、づつと飼つて居るのです。それがもうすつかり元氣になつて、時折ビ、、、と、澄んだ聲で啼く樣になつて居ました。

今も、仰向いたまゝでジツと天井を見て居ると、ざゝゝゝと響くうしほの音の間に、ビ、、、、と啼いて居るのです。それらが、快よい一の調べとなつて、とけ合ひながら耳に入つて來ました。

「さあ、今日はいよ〳〵お母さんが歸つていらつしやるぞ」

さう思ふと、胸のときめきをおさへることが出來ないのです。ひとりでにほゝゑみが浮んで來ます

この子供たちのお父さんは、燈臺守なのです。高い斷崖の上に立つた燈臺を、明けても暮れても番をしなければなりません。ですから、お母さんは赤ちやんが生れることになつた時、遠い町の病院にいらつしやいました。そして、昨日お母さまからとゞいたおたよりには、「明日歸ります」と書いてあつたのです。

今、芳雄君はそれを思ひ出したのです。みんなで病院へ行つたときに、眞白なお布團の中でスヤ〳〵と眠つて居た赤ちやんを想ひ出しました。林檎の樣なかあいらしいほつぺた、顔を寄せると甘いお乳の匂ひが、ぷーんとするのです。それから唐黍の房の樣なやはらかな髪………。

「芳雄、いゝお天氣だよ」

燈臺の灯を消しに行かれたお父さんが、歸つていらつしやいました。栗の實がはじけるやうに、芳雄君は床の中からとび出ると、

「綾さん、綾さん」

と、隣に寢て居る妹をゆり起して、ぱつちり開いた黒い瞳に、

「ね、お母さんが歸るんだよ」

と囁きました。

着物を着かへるのを待つて、

「二人とも、外に出て御覽。もう陽の出る頃だから」

とお父さんはおつしやいました

「兄さん、鳥籠を取つて」

未だ小學生の綾さんには、鴨居の籠までは手が屆かないのです。

「どうするの」

「鳥を逃がしてやるわ」

「それがいゝわ、いゝことがあるかも知れないよ」

「きつと、お母さんが眠り人形を買つていらつしやるよ」

「眠り人形——いゝわね」

綾さんは籠を下げながら、お母さんのおたよりに、「お年玉は何にしませうかね」と書いてあつたことを思ひ出して、胸をときめかさせました。

外に出ると、白塗りの燈臺が暖かな朝の空に、高々と伸びて居ます。風さへありません。

三人はすぐに、燈臺から少しはなれた崖のはなに來ました。

此處に立つと、目のとゞくかぎり靄のかゝつた海面がひろがつて水平線のあたりは、雲と一つになつて見えるのです。見る見るその雲は、薄紫から臙脂色に染まつて行きます。と思ふ間もなく、雲の一點から最初の光がさつと走ります。一筋——二筋——三筋——無數の金箭は空を蔽つて了ひます。

「明日からは、此處に五人で立つことが出來るね」

お父さんは、二人を振返つて、にこにこなさいました。

「綾さん。逃がさない」

「え」

綾さんは籠を持ち上げました。小鳥は山葡萄に似た艶のある瞳を見開いてじつとして居ます。戸をそつと上げてやると、一度のをふまへてから、朗らかな朝空に舞ひあがりました。翼を光らせながら、高く高くあがつて行くのです。

「まあ、よろこんで行つたわ」

綾さんが呟いた時、三人の幸福な顔を黄金色に照しながら、ゆら〳〵と雲を離れた太陽に、輝き滿ちた海の上から、澄んだ高音が聞こえて來ました。

「ビ、、、、——」

それは、永い事御世話になつた綾さんに對する感謝の言葉であつたのかも知れません、ほら又、聞えます。

「ビ、、、、——」

「さあ、歸つて御飯よ」

輝かしい朝です。

「それから驛にお迎へだ」（をはり）

滿日各地版

撫順

滿洲の劃期的壯擧 すべて興味を本位に 近く全滿スキー大會

滿洲スキー界劃期的の試みである「全滿スキー大會」は既報の如く一月下旬乃至二月上旬滿鐵の降雪あり次第老虎臺スロープに於て滿日支局主催撫順體育協會後援のもとに行ふ事を確定したその諸準備も既に整ひ殘る處は降雪を待つばかりになつてゐるから本月二十日まで參加希望者は撫順滿日支局宛至急申込まれたい、參加申込料

會費 さかはすべて要せぬ然る時は降雪あり次第日時を決定電報電話等で參加申込者に御通知する、參加資格など面倒な條件は一つもない、スキーは興味を持たれる人士でさへあれば双手を擧げて歡迎する、各參加者には滿日寄贈の「全滿スキー大會參加記念メダル」を進呈する、何しろ寒さの時期であるから當日スキー場休憩所の煖房設備は勿論、各參加者一般ファンの方に腹の底から溫まるやう豚汁、汁粉その他を準備してお待ちしてゐる、滿洲現在のスキー發達狀態から押して記録さかよりも要するに全山處女雪に包まれた老虎臺スロープに遊びにきて頂いて壯快無比のスキーのみが持つ滑走味をあぢはひ全滿スキー黨一團となつて交懽を溫め且ウインタースポーツの粹滿洲スキー界發達に幾分でも寄與せんとするのが主眼であり當日の大會は

興味 本位でやりたい計畫である、從つて當日のプログラムもオープンレースを主とし「パン喰ひ競走」「寶探し競爭」「スラローム競爭」等々の外當日現地に於て參加各位の御意見に從ひ臨機選定してもよい、尚小學生の爲には「繩競技」且御希望の方にはディスタンスレースとして「五キロ米競走」「三キロ米競走」「一キロ米競走」リレーレースとして「八キロ米リレー」「六キロ米リレー」「三キロ米リレー」等の準備も整へてゐる尚當日のプログラムその他に就き御意見のある方は參加申込と共に遠慮なく申送られたい、要はなるべく多數のスキー黨全部の方に撫順でなければ味はひ得ない壯快な一日を捧げたい事に歸する、來れ吾親愛なる全滿のスキー黨の士よ撫順スキー部同人初め撫順體協、主催者側も双手をあげて各位の

遠來 を歡迎搖籃時代の滿洲スキー界に各位の足跡を殘したい

今迄が暖か過ぎた 昨年との比較

滿洲寒都撫順も全滿的時候はづれの暖氣に包まれ「今年は大して寒くないなあ」と逢ふ人毎に喜んでゐたが八日夜來窓面その他外部に現はれてゐる部は寒いといふよりは痛い位の滿洲特有の酷寒襲來水銀玉は自暴に縮みきつた、まづ九日午前八時の測定に依ると撫順は零下三十六度八分、新屯同三十三度、中央事務所二十六度七分と云ふ何れも本冬寒さの記録を作つた是れから當分この寒さは續くものと觀られ喜ぶ者はスケーターだけ所で中央事務所内觀測所の昨年との比較統計は次の如くで一月に入り今日までは斷然今年が暖かであつた事を示してゐる

	五年一月	六年一月
一日	零下十九度九	零下十四度二
二日	二十二度	六度五
三日	三十度	十二度二
四日	三十度七	七度九
五日	三十一度二	十七度
六日	三十度九	十七度八
七日	二十九度三	二十度二
八日	二十七度六	二十度五
九日	三十度八	二十六度七

支那側商人 疲弊甚し

撫順附屬地及び縣下中國商人側の疲弊は回復する事を知らぬ銀安その他の關係で今やその極に達し舊正月の決濟期は到底順調に行かず破産に瀕するもの目下の處百數十軒を算せられその困窮振は言語に絕してゐる

不況何んのその 大官屯驛の景氣 毎日撫順炭の積出し 八百車を超える有樣

炭界不況の聲をそちのけでめつきり寒くなつた昨今撫順炭積出驛たる大官屯の發送炭は最近景氣のいゝ數字を示し連日七百八十車乃至八百車を超ゆる狀態である是を日別に見るに

四日社内炭八百三車の二萬四千九十噸、五日八百車の二萬四千噸、七日七百八十二車二萬三千六百四十三車、八日七百八十一車の二萬三千五百九十三車と云ふ炭界受難期としては景氣のいゝ數字を示してゐる、尚一月中の山元發送量は二萬三千八百五十車六十八萬五千五百噸の計畫が樹てられてゐる尚北滿地方よりの石炭注文は頗る活況を呈し電報注文直通電話等で撫順受渡所事務所へ注文殺到してゐる

工業實習所 新入生募集

開校以來早くも三週年を迎へ全國的就職難の折柄こゝさへ出れば食ひはぐれのない撫順工業實習所は今や十二學級に膨脹し校長以下兼務職員までまぜると合計五十九名の各門職員あり今や全く陣容整ふに至つたが本年四月一日新入所生として機械科約二十名電機科土木科各約十名宛採鑛科約二十名計約六十名を募集する事になつた、

入所志願資格者 高小卒か中學二年修了者か是と同等以上の學力を有する者で將來鑛業に從事せんとする確乎たる志望を有し身體强壯なる者である、現在高二もしくは中學二年在學の者にして校長の證明ある者は入所志願する事が出來る、因に右に關連する事項次の如し

▲入所願書提出期限 六年二月十日限（實習所到着）
▲入所試驗期日及試驗場 六年二月二十三、四日の二日間、午前九時より同實習所で
▲入所選拔 學科試驗（數學、國語）身體檢查、口頭試問の三項を斟酌して決定す
▲入所許可發表 六年二月末日の社報を以て發表す、尚その他詳細は同所に問合せられ度いと

鷄冠山

陸軍始觀兵式

一月八日は陸軍始めとて東京においては代々木原頭に大觀兵式が擧行せらるゝが當地に於ては守備隊駐屯の第一年として九時半から小學校々庭に於て穢重守備隊長指揮の下に分列式が行はれた當地として

長春

范家屯の邦人宅 匪賊團に襲はる 金三百圓を强奪され 主人は重傷を受く

七日午後二時五十分頃范家屯附屬地特産商橋本幾二郎（三）方に六名組の匪賊が闖入し一名は戸外に見張りをなし他の五名は各々ピストルを亂射しながら電話線を切斷しピストルで應戰する主人橋本に一彈を浴びせた上、事務室内で金三百圓を掠奪し、急報に接した長春署范家屯派出所から本田警部補杉山、林、大谷内、小路、平及び馬巡捕等出動直に同家を包圍したが賊團はピストルを亂射して警官隊と交戰しつゝ逸走、警官隊も之を韓家屯まで十支里を追跡したが黄昏の闇に紛れ遂に逮捕に至らなかつた、尚賊團中の一名は韓家屯附近において警官隊のために射殺された、一方被害者橋本の負傷は左肩から肺部を貫通、長春滿鐵醫院で加療中であるが生命は取止めるらしいと

警務局長謝電

別項范家屯派出所員の奮鬪に對し關東廳中谷警務局長は八日附長春警察署に對し感謝の電報を寄せた

强盗被疑者

七日午後五時頃長春署の周、于の兩巡捕が市中警戒中日本橋通東四條通交叉點において擧動不審の支那人二名を誰何した處抵抗したので格鬪の末逮捕し引致取調べの結果、原籍吉林省密山縣白泡子住所不定無職李華亭（三）同黒河省黎東縣住所不定無職呂海（三）と自稱し、彈丸を裝填せる拳銃一挺及び彈丸廿二發を所持してゐたので强盗被疑者として目下取調中である

中央通り大街で 陸軍始め觀兵式 商業學校生徒も參加

長春駐屯軍の陸軍始め觀兵式は八日午前十時三十分より市内中央通大街において擧行された早曉から兵舍を出發した將卒は、中央通ヤマトホテル角から一直線に西公園の正門まで道路の兩側に步兵第三十八聯隊、守備隊、衛戍病院、商業學校生徒の順序で長蛇の列を正す、騎乘の今井旅團長幕僚を隨へて閲兵、更に長春神社前所定の位置に着くと共に各隊分列行進を起して十一時十分分列式を終つた、此の日酷寒零下二十度を下つたが微風だになく、陽光朗かに觀兵榮えて壯烈深嚴參觀の觀衆一般市民數千名に上つた

二つの觀兵式

（上）長春神社前に於ける今井旅團長と幕僚
（下）遼陽に於ける分列式家屋の樣で禮を受くるは山本師團長

金州

古刹に富む金州を 廣く大々的に紹介 鳥瞰圖を各地に配布

巍然聳立して州内第一の高さを誇り加之響水、觀音の古刹を擁し幽邃の勝は其の名滿洲にかくれなき大和尚山を有し日露の役の戰蹟として世界に誇る南山や古く名染の金州城之れに附屬する夥だしい古刹や寺院を所有して尚其の上に産出無盡藏の如き豐富な苹果、櫻桃等果實の名所として七歳の兒童も知らざるはない

金州 も諸施設の完備特に交通網の完成とに依つて遊覽客や見學者が近年著るしく增加し尚逐年增加するに鑑み之等來客の遊覽見學の便を圖ると共に誘致の一策として從來種々の方法が講ぜられて居たが今年は特に一倍の努力と犧牲を惜まず大童宣傳を試むべく目下民政署に於て考究中の處此の程漸く成案を得たが先づ其の魁けとして近々數千枚の鳥瞰金州大繪圖を作り之を州内外の要所に頒布し尚且内地方面にも送り出す筈で殊に之を在滿愛金者の遊覽見學の

便益 を計る爲めに金州驛や滿電自動車待合所等便利の場所に於て實費分與を行ふべく計畫され居てゐる

在旅名士の反面を覗く（三） 菱刈大將の卷

旅順支社 一記者

菱刈大將は明治四年十一月生れ、太田長官とは僅に一月違ひの同じ六十一歳、在旅兩巨頭が殆ど時を同じくして、一は東北のみぞれ降る町に、一は鹿島の溫帶線に呱々の聲を擧げた譯である。◇

大將は薩の海軍と云はれるところから出て陸軍に入つたのであるがカッパが陸へ上つたのとは譯が違ふと見えて、上原元帥や町田總宇井戸川三長等の諸將軍も薩摩なら日本最初の陸軍大將も西郷隆盛であつたやうに菱刈大將も陸軍大將關東軍司令官の要職に出世した。◇

軍司令部におけるいかめしい軍服姿の大將は如何にも薩摩隼人のサムライのやうな武人らしい武人であるが、一度軍服を脱いで官邸にくつろいだ大將はすつかり關東軍司令官陸軍大將從三位勳一等功五級の長たらしい肩書から解放された一個の「菱刈隆翁」になり切ッて了ふ、大將自ら「有の儘主義」と稱して夏は裸、冬は田舍縞のゴツ／＼した和服に東北名物のモンペを穿き「菱刈大將の煙管」と名を取つた長さ一尺四五寸、皿は杯程ある銀着せ煙管で刻みをプカプカ吹かすところは、まるで那須の農園で百姓をしてゐた頃の乃木大將をそッくりとの評判である、其モンペは弘前の第八師團長たりし以來用ゐるやうになつたもので、毎朝散步に出る大將のモンペ姿に、行き逢ふ小學校の生徒が忽ち「乃木大將」のニックネームをつけて了ッたと云ふ。◇

大將の趣味は犬と碁と將棋と讀書、碁は太田長官の項でも一寸書いた通り田舍紳士に近く官邸には五面の盤石を用意して大將よりは少し强い大山法務官や、二三目置かせる二宮憲兵隊長等が「よき碁友」である、薩摩隼人らしくだんびらを大上段に振りかぶるやうな碁を打つかと思へば左に非ず、深謀遠慮、堂々たる正攻だと云はれる將棋の腕前は未だ旅順では試されないが、今村副官の保證する所によれば碁以上だとある。◇

愛犬は家庭に於ける大將とは十一年間仲よしのチヨコンとマシックの二疋、共に雌のスマートな小犬で、殊にチヨコンは大將が戸山學校長時代に外套の下に抱いて學校に通つた程で、爾來十一年間大將の寵を恣にし、よく大將の言葉を解して居間でも應接室でも大將の傍を離れない。◇

健康增進の爲には乘馬と散步とを必ず缺かさない、軍司令部への往復は必ず乘馬であるが、軍司令官大將閣下の愛馬は颯爽たるアラビヤの駿馬かと思へば事實は何時も小さな支那馬である。「軍馬改良々々と八釜しく云ふが支那馬も改良すれば此通り立派な軍馬になる、俺は支那馬が好きぢや」と支那馬愛用を實行を以て主張してゐるものらしい（この項つゞく カットは菱刈大將）

大タクの電話番號

所	番號
中央營業所 本店	5774 3868 8514
南部營業所	3358 5263
西部營業所	9324 9601
桃源臺支店	4515 7405
逢阪町支店	5503 6557
山縣通出張所	7841 8935
星ケ浦出張所	9124 の20
旅順營業所	923

硯滴

去年は十一月迄殺人事が未だ曾てない多さで凶事は極めて稀であつた殊に結婚式の樣な一生一度の御目出度が狹い金州で十幾組内民政署だけで六、七組もあつて話好きな金州雀を羨ませてアット言はせたが好事に附物で師走の月に入つてから文廼家の女將を始めとしてたつた八日の間にばたばたと五人も行先は何處か知らぬが兎に角極樂へと旅立つた是亦金州の人士を啼然たらしめた酷い是れに寢食を忘れて盡力下さつた方は引續き今日と言ふのは自分の家では全然食を採る事が出來なかつたさうだ、何れも昭和五年は平凡な年ではなかつた理だ、然しながら今年は元旦早々から南山火葬場にも小さい二筋の煙が消え去つて居る、是れを以て昭和六年は幸先悪しと御幣を擔ぐ心配子もあるが强ち幸先を挫く必要もあるまい、子を亡くした親、親を死なせし子の内にも愁傷の裡にかく思はるゝ方もあらうが何も運命だから致し方がなからう、ここを節いたまゝ感じたまゝ

貔子窩

本社福運券 當籤者

正月一日本紙愛讀者に贈呈の福運券は同八日警察官立會の上之が抽籤を行つた結果左の番號所持者に本年の福が授けられた福品は販賣店佐藤生々堂に陳列しあれば當籤者は成るべく早く御引替願度い御引替は本月末日迄以後無效につき期間内にお引替下さい

壹等一名 112番
貳等二名 200 106
參等三名 221 196 207
四等七名 144 220 193 115 131 143 126
五等十名 213 190 129 191 170 186 118 167 199 203

人事

▲合田陸軍省醫務局長 九日下り急行列車で來遼
▲龜井遼陽衛戍病院長 九日歸遼

白塔りよだ

遼陽座では十一日から少女歌舞伎少…の一座が開演であるが輸入組合加盟店の家族總見があつた▲京都師團の交代も餘す處三ヶ月足らずになつたが嚴寒零下廿餘度もあつて人馬共に凍結しさうな時大に志氣を鼓舞せんと日露役の戰蹟三塊石山方面に耐寒行軍を實施すと聞いただけでも感激せざるを得ない▲警察署長から團旗の制式と揚揚方の心得に付管内各團體へ通牒があつた個人も周知して過らぬ樣にしたいものだ

三宅醫長榮轉

遼陽滿鐵醫院外科醫長三宅博士は撫順醫院に榮轉の旨八日附社報で發表、後任は本溪湖醫院醫長の鑛地清氏であると

官有土地處分

遼陽民政署財政課管理に屬する土地建物中左記の通り拂下げの說がある
▲土地一萬一千六百八十三畝時價大洋四十七萬六千八百二十元
▲建物六千二百七十八間價格百五十五萬千九百五十八元

修養團講習會

遼陽駐箚步兵第廿聯隊では十一日から十三日同隊將校集會所に於て下士准士官五十名に對し修養團講習會を催すと講師は朝鮮聯合會理事中山定雄、滿洲聯合會長岩井鞭六少將兩氏の外遼陽支部から四五名助手として參加すると

寒稽古始まる

滿鐵遼陽道場の寒稽古は十日から向ふ三週間で時間は午後五時から一時間、日曜日は午前十時からである

氣溫低下

遼陽は昨今氣溫低下に降九日朝零下廿六度であつた

聯隊耐寒行軍

遼陽駐箚步兵第廿聯隊では十四日から十六日迄三日間に亘り聯隊長引率の下に三塊石山方面に耐寒行軍を實施すと

遼陽

寫生競技大會

遼陽小學校では兒童に繪畫練習を獎勵する爲め九日午後一時から講堂に於て各學級から五名宛選拔して靜物を示して寫生競技大會を催したが審査の結果成績優秀の者には王樣クレオン製造元から寄贈のメダルを賞與すると

志摩一晃一行

浪界の寵兒桃中軒如雲改め志摩一晃一行十三名は一月九日十日の兩日當地公學堂講堂に於て午後五時より美聲を響かせた

新年圍碁大會

當地圍碁會では十一日午前九時より新年大會を催す由であるが目下三十餘名の多數申込者があり之が準備に忙殺されてゐる場所未定

民政署の異動も どうやら一段落 署員は漸く安堵の體

當民政署に於ては增田署長就任以來署内刷新の意味に於て廣汎に亘り屢々異動を斷行して居た事は既報の通りであるが之れが爲めに署員間には今後尚異動續出等の風評立ち仕事も手に附かぬ模樣であつたが此の程に至り異動も漸く一段落を告げしものゝ如く、其の爲め九日民政署に署長を訪へば氏は横溢する活氣に笑を交へて語る

どうも少し濱り過ぎると言ふ風評も立つて居る樣ですが之れで署内の異動も一段落を告げた譯です是れからは署員にも落ちついて仕事をして貰へる積りですどうぞ今後共宜敷

哈爾濱

邦人の六割まで感冒に罹る

感染性が頗る強い

氣候不順のため感冒の大流行で在哈邦人三千八百餘名の老幼男女は六割まで罹患し、男子で三十八、九度ゝ發熱者多數あり、流行の系統は特に明瞭ではないが感染性强く豫防に注意を要するといふ

淋しかった降誕祭

七、八の兩日はキリスト降誕祭でロシヤの帝政時代におけるハルビンならば全市は總てに業を休んだものだが、時代の變遷にソウエート機關は平常の如く仕事をなし銀行では日本側が休業してゐるのにダリバンクは毎ものごとく事務執つてゐる、勿論東支鐵道、ソウエート總領事館も別に變つたこともない、キリストよりはレーニン氏を遵奉するソウエートとしてはこれが當然だらうが、特に本年から實施されたので一層氣分が違ひ、キタイスカヤ街のみが舊慣例で店を閉めてゐるといふ調子である、蘇聯人は昔のロシヤ祭で今は何等關係しないといふ、これも三一年型北滿における色彩の變化であらう、ところが支那側は舊暦を本年から施行すると布令したが中國職人の大部分は依然として新暦で行けば舊暦に膠着してゐる、これもまたハルビンの一風景であらう

東鐵換算率

哈大洋の慘落で東鐵の運賃收入留換算率は一金留二四八となつた輸出入共に沈滯である

東鐵商業科長

東鐵商業課長に營業科長ラドチエンコ氏が十日附で任命された

貨物列車脱線

七日東鐵西部線チエンガ驛附近にて第五二號貨物列車が脱線し貨車八輛を破損、車掌、機關士四名は重傷を負ふた

緒方書記官赴任

モスクワ駐在を命ぜられた緒方書記官は七日十五時五十二分でモスクワへ向つた、ハバロフスク駐在總領事代理小柳雷生氏は六日來哈北滿ホテルに投宿、九日午前十一時ウスリー經由赴任した

吉長線のペスト調査

吉長線下九台におけるペスト患者發生に東鐵衛生局からスホフ醫師が調査のため派遣された、眞性のペストなれば第二の防疫法を講ずる筈であると

コバルニー

建國紀元二五九一年を迎へた、既往を回顧すれば感慨無量のものがある▲北滿の經濟界は昨年より本年と一層消極化する素因をもつてゐる▲駱頭哈大洋の大暴落、大豆一プード七十三錢、歐洲筋買氣薄等々▲隱忍自重してこの難局に善處する覺悟を要する▲初春劈頭に片岡さんが白神後生氏から「本來無一物」の辭を惠されたのも考慮の餘地あり▲生れ來るとき裸なれば六文もつて墓穴を掘るに至れば人生は終る▲裸一貫から叩き上げての御稼で妙なり▲借問す彼のハルビン聖分人は資財をもつて遺能したるかな▲本來これ無一物は豈片岡君のみならんや▲七、八の兩日はキリスト降誕祭、赤いロシヤでは無宗教で休まない▲昔のロシヤ人が降性的勢力の撥日に日本側銀行會社が休むことはチト變である▲時代の變遷に逆行するはよくないがまさに順應だけはすべきである

奉天

奉天の人口 四萬二千を突破

内地人は二萬一千人

昨年十二月末奉天署の調査による管内の戸口數は左の如き狀態である

附屬地内 戸數 內地人四千七百九十二戸、鮮人百四十四戸、支那人二千九百九十二戸、外國人三百三十二戸、合計八千二百六十戸 人口 內地人(男)一萬一千百六十六人(女)一萬二百六十五人、計二萬一千四百三十一人、朝鮮人(男)四百五十人(女)二百八十八人、計七百三十八人、支那人(男)一萬五千百八十六人(女)四千二百六十八人、計一萬九千四百五十四人、外國人(男)六百三十二人(女)五百三十一人、計千百六十三人、合計四萬二千七百八十六人

管內沿線地 人口(新城子)日本人百六人、支那人九百廿九人(虎石臺)日本人六十二人、支那人三百四十六人(文官屯)日本人四十四人、支那人五十四人(渾河)日本人六十六人、支那人八十九人(撫樹臺)日本人三十六人、支那人二十人(蘇家屯)日本人六百四十七人、鮮人二十八人、支那人六百十九人(吳家屯)日本人廿三人、支那人二百七十四人(陳相屯)日本人三十三人、鮮人二人、支那人四十七人(姚千戸屯)日本人三十二人、支那人四十一人、都合男二萬九千八百廿二人、女一萬六千四百五十四人、總計四萬六千二百七十六人

これを前年末に比すれば日本人以外は大した增減はないが日本人は戸數二百四十九戸、人口男四百七十四人、女三百七十二人都合八百四十六人の激增を示してゐる

滿鐵社員會 婦人部總會

昨年末颯々の聲をあげた滿鐵社員會奉天婦人部は既に各役員をも決定し本年から經濟、文藝等各方面に婦人として目覺めた活動を試みることになつたが會員二百十二名を有する同部では今月下旬總會を開催し各種事業を決定する筈である

不法監禁事件

一味十四名起訴さる

市内春日町六番地洋灣商中村林助(□)外十三名は大西關成平里鄭親士府總辦(□)外日本人二名を舊臘十五日温泉倶樂部に不法監禁せしめたる事件で奉天署では極秘に取調中であつたが八日前記十四名全部を不拘束のまゝ起訴することになつたと

◇本年に入り漸落歩調を辿つてゐる現大洋票は九日前に於て二百十八元の新安値を唱へ先物は依然軟調で混沌としてゐる下落の原因は一般銀安によると

◇西安縣居住郭形昌は主人の金哈留濱大洋一萬餘元を拐帶し奉天方面に逃走した模樣ありその筋へ搜査願ひを出した

町のニュース

奉天家庭研究所では十日から和服科、編物科の授業を開始したが當日は午前中授業をなし午後からお菓子の親睦會に移り各人持寄りの餘興が演ぜられ盛會裡に午後四時頃散會した

◇九日午後六時から市内青葉町出雲大社奉天教會所では甲子祭を施行した

人事

▲坂西中將(貴族院議員) 九日朝大連より來奉 ▲森本關東廳警務課長 八日安東へ ▲鮫島煤鐵公司總辦 八日來奉 ▲河野奉天署警部 九日大連より歸奉

銷場税の存廢問題

邦商成行を注目

遼寧省當局は今回の新關稅實施に伴ふ東北省の銷場稅を撤廢すべきか否かにつき財政廳關係各要人の對策會議を開催し審議を續けてゐることは既報の通りであるが遼寧省當局が中央政府の命令通り果して銷場稅を撤廢するかそれとも現狀のまゝを持續するか各方面から非常に注目されてゐる現在の處では省政府の收入たる銷場稅を廢止することは出來ぬ、何れ廢止することになれば之に代る補塡稅率を制定まで從來通り銷場稅を徵收する模樣で何れにしても我貿易商の蒙る打擊甚大で輸入全く杜絕し僅に現存するストック品を賣買してゐる有樣である

英使節一行

英國經濟使節トンプソン氏一行十名は北滿視察を終へ九日廿二時半着列車で來奉ヤマトホテルに入つたが當地では城內、北陵、撫順等を視察し十四日夜赴連海路日本內地へ向ふ豫定であると

九日の氣温 廿七度

去る六日入寒後奉天の氣温もメツキリ下り九日朝の如きは零下廿七度一分を示し今冬今までの最低氣温であるが昨年の同日に比し二度一分低く今年は三十度を突破するかも知れぬといはれてゐる

八相

▲一寄稿の目的とするものは採らぬ ▲投書歡迎 ▲但し一行數五十行以內のこと

勞工車の徹底

大連　能登生

◇滿電が大連市內電車の一部に勞工車を運轉してゐるが、一般の乘客からこれについて意見を徵したら、定めし不平や反對が多からうと思ふ、勞工車運轉の趣旨は一般乘客に不快を感じを輿へるやうな下層勞工者をこの車に隔離しやうといふにあるべくその趣旨は表面誠に結構だ、だが左の點について滿電當局の再考を促したい

◇第一に滿電當局はあの勞工車に乘つてゐる客の性質について調査したことありやである、朝夕の混雜時などは確にその大部分が他の乘客に對して不快を輿へるやうな服裝をしたものでないところの乘客だ、しかもこれ等の乘客は殆ど全部普通回數乘車劵で乘つてゐる

◇第二に勞工車以外の普通車に他の乘客に不快な感じを輿へるやうな乘客なきやである、四號、一號、二號、七號系統の車內には眞に寄りつけない不潔な不快な服裝をした乘客が隨分多い

◇第三に勞工車から乘換劵を受取つた乘客が乘換へに際しては普通車に乘り得るやうにしてゐるのは如何なる理由に基くかである、例へば西廣場から勞工車に乘つて老虎灘に行くものが常盤橋から普通車に乘つたとしたら勞工車運轉の趣旨が完全に滅却されるではないか

◇依つて滿電當局が他の乘客に不快の感じを輿へるものに對して乘車を拒絶する勇氣なく飽くまで勞工車を運轉せんとするならば先づ普通回數劵による勞工車乘車を拒絶し普通車に乘車せんとするものについても服裝の不潔なものには乘車を拒絶し勞工車乘客の乘換を制限し且勞工車を全線に運轉ししかも普通車の運轉に影響せざるやう調節することだ、滿電當局の熟考を促す

安東

昨年中の失火數 五十二件六萬圓

舊市街を加へれば更に增加

國境都市の安東も今でこそ防火設備の完成した煉瓦家屋の建築が年一年と殖えては來たもの、木材都市と云ふだけあつて殆どバラック建ての家屋が多かつた關係上二三年前迄は火事は安東名物の一に數へられて居たが數年前から警察署當局地方事務所並に火災保險協會等の防火設備の結果年と共に漸次其數を減じ昨昭和五年度は著るしく事故激減せし事は安東の爲めに誠に慶すべき事であるが尤もまだ他地方に比し好成績とは云ひ難い今分東署の調査によれば昨年度の失火事故五十二件此の損害實に六萬六千餘圓の多額に上つて居る、此に舊市街方面の失火件數並に損害額を計上すれば相當の巨額に達する模樣である失火原因は重に温突煙突の不完全による者多く其他煙草の吸殼、炭火の不始末、子供の弄火、神佛の燈明等僅の不注意から取り返しのつかぬ大事を起すに至るのであるから一般に大に注意すべきである

消防隊の出初式

安東滿鐵消防隊の出初式は既報の如く八日午前十一時より安東警察署試驗場に於て擧行されたが定刻署員一同整列するや高山署長は大隊長保安主任警部を從へ前田消防監督及河野消防監督と共に服裝、機械器具其他の點檢をなし終つて高山署長の訓示あり之に對し前出監督が答辭を述べそれより大場警部の乘込めるオートバイを先驅に監督、副監督、消防長、保險協會代表その他分乘せる三臺の消防自動車を連れて警笛の音と爆音勇ましく市中を巡行したる後安東神社に參拜して一應解散し更に午後四時より消防隊構内に於て安義兩際の官民五十餘名を招じ恒例に依る新年宴を張つたが頗る盛會であつた

荒川組合長

安東木材商組合長荒川六平氏は約十年間同組合のために盡瘁し來つたが今回辭任することになつたので組合側から同氏多年の勞に酬ゆる爲め記念品に感謝狀を添へて贈呈することになつた

仙石總裁招宴

滿鐵總裁仙石貢氏は來る十五日午後五時から安義兩地官民有力者數十名を料亭スミレに招待し新年宴を張ると

淺尾家不幸

當地郵便局員淺尾與三吉氏二男與三氏は長春商業學校二年生なるも入學以來熱心に勉强成績も優秀にして將來を囑望されて居つたが昨年十月上旬腸窒扶斯に罹り入院治療中漸く快方に向ひ家族は勿論學友等も愁眉を開きつゝありしに遂に病急變本月五日長春病院にて鬼籍に入つた八日當地蟠龍寺に於て葬儀執行森川商業學校長二年生總代小學校同窓會總代の弔詞浮津導師の讀經あり會葬者は吉川局長谷口校長齋藤總聯區長學友其他多數にて盛大に行はれた

大石橋

守備隊便り

守備隊寒稽古 守備隊岩田大隊長以下將校全員及准士官曹長は一月十日より二週間毎日午前三時より滿鐵道場に於て寒稽古を實施す

看護卒入隊 大石橋守備隊本年度看護卒八名は十日到着夫れ〴〵中隊に入隊する筈

初年兵查閲 岩田大隊長は初年兵查閲の爲め十四日瓦房店に十五日熊岳城に出張す

守備隊冬季行軍 大石橋岩田大隊長以下將卒約五百名は冬季行軍の爲め一月廿日安奉線陳相屯に下車し萬寶山三碗石山等の戰跡を尋れ廿四日瑪嶺子より乘車歸隊す途中演習をも行ふ

鄭家屯

四洮沿線一帶に開平炭進出

撫順炭にとり大脅威

一般財界並に銀價暴落に依る不況は舊年末を控へ一般支那人の生活の基礎を脅し或は破産或は服毒自殺等々の重大社會問題を惹起し實に慘澹たる狀態を呈して居るが目今の寒中生活に缺く事の出來ない燃料石炭商にも所謂不景氣風が襲來したので邦人石炭商は顧客の吸收に努めつゝあるがこの凄ぐましい努力も價格が稍高いので賣行が面白くない模樣である然るに支那側の石炭商は撫順炭に餘り劣らぬ開平炭を五百噸仕入れて而も價格は頗る低廉で注文に應ずると云ふので一般の需要は激增せんとしてゐる、銀價暴落の昨今であるから金一圓の差は大洋二圓の差となるので一噸三、四圓の差であれば品物は少し下ッても自然開平炭を購入する事となるは當然だと一般支那人は評して居る、聞く處に依れば支那商人は[illegible]を四平街や四洮沿線に賣捌く樣に外交員を派遣してゐるとか此の樣になれば自然撫順炭にとつては大なる脅威である

[illegible]は對策を講ずべく大奮鬪を續けてゐる從來鄭家屯には撫順炭の八千噸內外を賣捌いてゐたのに昨年は不況のため支那側の需要減じ僅か二千噸內外を賣上げたといふので今や邦商は必死となつて「品質佳良」「斤量確實」をモットーとし

スケート大會

既報の鄭家屯官民合同のスケート大會は一月十一日鄭家屯日本小學校スケート場にて催すことに決した

謝狀

舊臘四平街へ引揚げたる特產商菅野高治氏は鄭家屯居住官民に對し叮嚀なる謝狀を寄せた、因に住所は四平街緑祥街竹村吳服店北側

產れた人

鄭家屯驛前特產商添田晴正二男力也、昭和五年十二月十四日生

開原

全開原圍碁大會

愈々今日午前十時から 社員倶樂部で開く

本社開原支局主催の全開原新年圍碁大會は愈々今十一日午前十時より滿鐵社員倶樂部に於て開催することとなつた六日迄の申込六十餘名に達し當日は定めし盛況を呈するであらう

守備隊の演習

開原守備隊にては八日陸軍始めに際し午前九時より同隊附近に於て演習を行つた

婦人會幹事會

開原婦人會にては滿鐵倶樂部に於て九日午後一時より幹事會を開催

弓道部初例會

開原弓道部にては來る十八日(第三日曜日)午前十時より道場において初例會を開催すると

憲兵隊武道始

開原憲兵分遣隊にては同隊樓上において八日午後一時より武道寒稽古を開始

兒童慰安活動

開原公學堂にては九日午後一時より講堂に於て兒童慰安のため活動映寫會を催し保護者をも招待した

公學堂書初會

開原公學堂にては七日書初會を催し全堂兒童に一樣に「努力自元旦始」の文字を書せしめ展覽會を開催し各級一、二、三等迄賞品を與へたと

旅順

廣く期待に添ふべくプログラム變更

本社支社主催映畫會

十三日昭和館に於て當支社主催に係る讀者奉仕映畫會は果然讀者各位の歡迎を受け當夜の盛況さこそと豫想される事は欣快に堪へない次第であるが現代劇「平和の勇士」には故後藤伯や二荒伯三島子を始め少年團日本聯盟幹部の英姿や大分縣下のキャンプ實寫等が現れボーイスカウト教材としては好個の無比なるを以て當日は午後二時頃から第一第二兩小學校生徒を始め兒童本位の映寫會を催す豫定である、なほかねて豫報して置いたプログラムは更に一層一般の期待に添う爲めに左の如く一部を變更した

一、神戸沖に於ける帝國大觀艦式
二、喇叭手クーガン(五卷)
三、平和の勇士(八卷)
四、めくら蜘蛛(十卷)

無錢宿泊常習

本籍岡山縣兒島郡兒島町一三三五番地當時大連沙河口元町二二一番地太田喜之助方居住無職三宅重(二〇)及び本籍鹿兒島縣肝屬郡高須町一〇一二番地當時大連沙河口元町七四番地益田道治方居住無職田代廉一郎(二〇)の兩名は紳士風を裝ひ去る五日花園街館の家族館に投宿二日間の宿泊料八圓餘を踏倒さんとして其筋に突出され取調の結果無一文にして無錢宿泊の常習犯なることが判明し特に三宅は前科二犯のしたゝかものとわかり嚴重取調中である

新年宴會

南本街町內會では來る十四日午後六時から松月に於て新年宴會を催す筈である

營口

砲兵耐寒行軍

營口駐屯の野砲第二十二聯隊にては耐寒行軍のため零下二十餘度の酷寒に途中演習を行ひつゝ二十一日來營着後直に當地附近において演習を行ひ同夜一泊の上二十二日發歸隊の筈であるが地方事務所においては十三日午後一時から在郷軍人分會長その他の關係者の參集を求め宿舍割當に關する協議をなす筈である

覇權を目指して 快！銀盤上の飛躍

歐洲派遣氷上豫選出場の七選手

きのふ第一日の成績

既報の如く日本スケート史上に一エポツクを作る滿洲體育協會主催の歐洲派遣氷上選手豫選會は十日午後一時より新設の奉天國際運動場内リンクで世界スケート界の視聴を集めて擧行された、この榮ある覇權を目指して集まるもの安東の木谷、石原、大澤、吉岡の四選手、奉天の河村、小池の二選手、大連の池見の都合七選手である、各選手とも既に舊臘來、來奉し同リンクにおいて

猛練習 の結果、今やコンデイシヨン絶好となり、日本公認を破るの好成績を示してゐる、またリンクは先發の林田協主事らの努力により稍かたき憾みはあるが、これまたコンデイシヨンよく、零下十八度、風速約四米の狀態である、午後零時半、七選手入場、輕いウオーミングアツプの後一同必勝の覺悟もまなじりに現はれ氷焼けした顔には、旬日の猛練習が思はれる。午後一時、林田體協主事の挨拶、久保田審判長注意の後、この歴史的日本最初の歐洲派遣スケート豫選會は五百米豫選から戰の火蓋が切つて落された、今回のこの豫選會は來るべき世界オリムピツク大會氷上豫選とも見做される、即ちオリムピツク氷上大會は來年二月頃行はれるため再度豫選は日本の氣候上、行ふこと不可能なる關係で、オール日本選手權大會並に本日本大會の

成績を 參酌してオリムピツク代表選手を選定されるのでこの意味においてこの豫選會は重大な意味をなしてゐる、また醫大アイスホツケーチームはオリムピツク豫選とも見做される全日本選手權大會に出場することに決定、別項の如く遠征の途につくことになつた、歐洲派遣選手銓衡委員會は第二日（十七日）競技終了後、運動場内事務室において開かれるが、銓衡委員は左の如し

岡部平太、林田學、久保田晴光、齋藤兼吉、村田潔三（木谷辰巳代理）

四周目邊りより木谷に遅れ八周目邊りより木谷に遅れること約十二三秒に達し開き大きくなる右の結果により五千米の順位左の如し

第一　木谷（安東）
第二　池見（大連）
第三　小池（奉天）
第四　石原（安東）
第五　大澤（安東）
第六　河村（奉天）

かくて第一日の五百米、五千米兩競技の成績の結果順位左の如し

第一木谷（安東）一二點三一
第二石原（安東）一二點六一
第三大澤（安東）一三點七三
第四河村（奉天）一四點〇八
第五池見（大連）一四點一九
第六小池（奉天）一八點五六

かくて第一日目の競技を終つたが更に十一日午後一時より第二日目を開き一萬米、千五百米につき競技を行ふ筈である

（註）右得點の換算方法はオリムピツク選手權大會等に於て行はれる方法をもつて五百米を基準として割出されたものである即ち五千米にあつては要の個人のタイムを十分の一しその出たる秒數と五百米に要したる各個人の所要の秒數を加へたものが得點であつて小數なるものを上位と爲すものである、一萬米に於て二十分の一し、千五百米の場合は三分の一にしたる秒數を加へるものである、明十一日行はれる一萬米、千五百米の兩成績はかくして割り出され第一日に加へたる得點が最小數なるものを優勝者と定むるものである

五千メートルに 木谷（安東）選手

タイム一〇分三秒一

五千米豫選は午後二時半から開始された、抽籤の結果石原（安東）大澤（安東）を第一組、池見（大連）小池（奉天）を第二組、木谷（安東）河村（奉天）を第三組とし、吉岡（安東）は體の故障のため棄權のやむなきにいたつたのは甚だ同情に値する戰跡左の如し

第一組

石原省三（安東）一〇分二五秒一

最初より頑張り七周邊りから稍疲れ十周目よりよく頑張る

大澤義一（安東）一〇分二九秒三

三周目までは非常に調子よかつたが彼獨特のロングをひくことなしに終る

第二組

池見正信（大連）一〇分二二秒九

第四周目で非常にスピードが落ちたが第六周目ころより元氣を恢復する

小池富治（奉天）一〇分二四秒六

小さなピツチで頑張る一方で終始しゴール前で顛倒したがそのまゝ入る

第三組

木谷德雄（安東）一〇分一三秒一

河村と組んだが非常な元氣で終始頑張る

河村泰男（奉天）一〇分四〇秒六

選手に注意する久保田審判長

滿洲醫大 ホツケー代表は

全日本氷上選手權出場

來る一月十八日から四日間岩手縣嬬戀の海に於て行はれるオール日本氷上選手權大會に滿洲より醫大のアイスホツケーチームが出場することに決定した、同チームは十三日奉天發急行にて朝鮮經由遠征の途につく筈である（奉天電話）

ファンを唸らせた 『嵐寛壽郎と劍劇の夕べ』

本社主催「滿洲映畫週間」における「嵐寛壽郎と劍劇の夕」に出演のため來連した東亞キネマ時代劇部俳優嵐寛壽郎一行及び高村東亞撮影所長は、激浪と風雪に惱まされた長途の航海を終へ十日午後六時半大連に入港するや、旅裝を解く暇もなく直に會場たる滿鐵協和會館に至り、折柄の酷寒にもめげず詰めかけた入場者に對し、劈頭高村所長は「日本映畫界の展望」と題して、日本における映畫製作の過程を述べ時流に乘る映畫の解說、將來の日本映畫の往くべき道程について實際經驗と該博なる智識を基礎として「日本映畫界の展望」を約四十分間に亘つて說述し、滿堂の拍手裡に降壇、八時より、寛壽郎、駒子主演、時代劇「忠次笑へば」を上映、東亞が新春封切用として撮影した超特作品たる本映畫は完全に觀賞者を魅了し盡して映寫を終り、十時からいよく當日の呼物たる寛壽郎の實演「幕末」を上演、維新の京洛を背景とする勤王の志士高山彦九郎とこれを斃さんとする新選組の大亂闘に觀客は手に汗を握り、寛壽郎の扮する彦九郎、木下双葉、歌川絹枝の扮する妖艶な大原女、孰れも觀衆の好評を博して午後十一時前この興味深き「寛壽郎と劍劇の夕」を終つた

紅二點を加へ 華々しく大連入

東亞の嵐寛壽郎一行

高村撮影所長に引具されて

花吹雪の如く颯爽として嵐寛壽郎の一行が十日入港の香港丸で來連した、我社主催の劃期的企てある映畫週間に更に華を添へ樣と云ふのだ、一行中にはシルバーシートで面識の木下双葉、歌川絹枝の二人の

美しい 女性まで加つて眼々しさに輪をかけてゐる、一行十五名、東亞キネマ撮影所長の高村正次氏が總帥で折柄の零下二十度近い極寒に些か度膽を抜かれた形だが、舞臺になば小旗を打ちふつて岸壁で歡迎してゐる數多くのファンを見ると寒さなぞケシ飛んでしまつたらしい、先づサロンに高村所長を訪ふと

九州の方から話があつたのだ是非滿洲に顔を出して皆樣に御挨拶をしようと思つてゐた矢先でしたから思ひ切つて乘出して來たものです、これからすぐ上陸して協和會館の方に出るので少しあわてゝゐますが東亞キネマも今後はもつと滿洲方面にも

進出し たいと思つてゐます、時に御紙で掲載されてゐる例の「體驗一代男」は是非物にしたいものと思ひ目下次第撮影にかゝるつもりですが取敢へずこちらに居る間に皆と雜談してキヤストなぞを定めたいと思つてます、そしてなるべく紀元節までには上映したいものと思ひます、何れゆつくりお話しませう、何分一行は初めての滿洲と云ふので頗る緊張してゐますよ

次に嵐寛壽郎氏は

舞臺出身です、マキノになつた頃から皆樣とはおなじみですが今度東亞の専屬となりましたからよろしく

お頼み します、持つて來た映畫「忠次笑へば」は舊臘廿五日に仕上げたものです、忠次ものは初めてですよ

次に木下さんと歌川さんからは口を揃へて「何卒よろしく」とあつた

昨夕大連入りの嵐寛壽郎一行

【寫眞】向つて左から高村東亞等持院撮影所長、歌川絹枝、嵐寛壽郎、木下双葉の諸氏

斯界の珍品を揃へ 映畫展蓋開く

いよくけふから華々しく

本社樓上に於いて

本社主催第一回滿洲映畫週間は全市民の待望裡に愈々本十一日より開かれる事となり、その一事業たる映畫展覽會も同じく本日より本社三階に於て華々しく開催されることになつた、本展覽會は技術の部小型映畫の部、内地各映畫會社の部等より成つてゐるが、いづれも映畫ファンにとつては見逃し得ぬ興味深い出品物のみある、特に技術の部における滿鐵出品の「映畫が出來るまで」及び「沿線に於て」電燈の設備なき箇所に於ける映畫用の發電機及び映寫機各種」はや、専門的ではあるが非常に珍しく小型の部における「最新式なるパテーベビー及び十六ミリ」は流行の尖端として面白く、また各映畫會社の部における蒲田出品になる栗島すみ子、八雲惠美子、龍田靜枝、川崎弘子等各スターの代表作品にお於けるその衣裝、日活出品の各スターの愛用品及び餘龍製作品千惠藏プロ出品の千惠藏一代記等は最も興味の多いものである、ただ殘念なのは帝キネが長満に續く太秦に於ける二度目の火災に會ひ又マキノが爭議等のためいづれも充分な出品をなし得なかつた事である

西部大連に於る 讀。者。慰。安

嵐寛壽郎と劍劇の夕

沙河口劇場で公開

十日夜協和會館における本社主催の滿洲映畫週間の「嵐寛壽郎と劍劇の夕」に出演の劍戟レヴユウ劇王美談「幕末」二場の實演と時代劇特作品嵐寛壽郎、原駒子主演の「忠次笑へば」の封切上映は熱狂的大喝采を博したが、更に本社西部大連通信部及び西部大連販賣店主催で讀者慰安のため十二、十三の二日間午後六時から沙河口劇場において「嵐寛壽郎と劍劇の夕」を催し「幕末」二場の實演と「忠次笑へば」を上映し西部大連の讀者を限り入場料九十錢を特に六十錢に割引することにした、割引券は木下、周藤、榮太郎、前田の各新聞販賣店から十二日朝刊及び十三日附夕刊に挾み込み配達することになつてゐるから滿員にならぬうち午後六時の定刻までに來會されたい

向陽臺の 白晝強盗

第二段の活動に入る

十日正午市内向陽臺二六番地滿電監督安原文哉方に押入り西洋剃刀で妻女松枝（〻）の腰部に斬りつけて全治一週間の負傷を與へ現金十餘圓を強奪逃走した強盗犯人に就いては大連署で鋭意搜查中であるが、現場に遺棄してあつた犯人所有の剃刀に殘された指紋を唯一の手掛りに夜に入つて第二段の活動に移つてゐる

五時間も遅れて 香港丸漸く入港

難航に難航を續けて

零下十九度九、十米突の烈風に加へて白粉の樣な吹雪の波、定期船香港丸も難航また難航、豫定より五時間も遅れ十日午後四時半漸く眞白に凍つた船體を現しタドくした足どりで同五時港外着、折柄の結氷を割つて入港せんとしたが何分氷の張り切つてゐる事とて航行心にまかせず、手と手の屆く所に居りながら時間は刻々經過して午後六時を過ぎてもまだウロウロしてゐる始末、かくて漸く六時十分頃辛うじて十一番バースに着いた、この日本社主催の協和會館に出場する嵐寛壽郎一行が乘船してゐるといふので市内のファンが寒さにもめげず集つて「一體どうするつもりだお客さんを船に置いて置く氣か？水先案内さん頼みますよ」とコボすものがあるやら憤慨するものがあるといふ有樣、かくて午後六時半に何れも上陸したが、同豫定より全一日遅れて濟通丸は午後十一時入港豫定の旨入報あつた

田中絹代が入選

獨立美術協會洋畫展に

【東京十日發電通】藝に二科に對し叛旗を飜へし春陽會その他から脫退者と共に旗揚げした獨立美術協會の洋畫展は千九百三十一年春のトツプを切つて開催され、九日夕刻六時總搬入數三千七百五十一點から百餘名の入選者を發表したが、その中には松竹女優田中絹代が「リンカーンよ東京へ東京へ」と題する畫を出品入選してゐる（寫眞は入選した田中絹代）

博多の大火

百貨店街全滅す

【福岡十日發電通】十日午後一時五十分福岡市博多目抜の場所たる東中洲京極百貨街京極食堂より發火し、秒速十二米の烈風に煽られ見る間に附近を甞め盡し博多總の老舖松葉屋に延燒し更に猛烈に燃え擴がり、福岡聯隊、消防組の必死の努力により百貨街の商店三十餘軒を全燒し午後三時三十分鎭火した、原因は京極食堂の煙突の火の子らしく損害五十萬圓に達する見込みである、同所は大正十二年の大火で全滅しその後復舊し今回又復全滅したもので目抜の處とて大混雜を呈した

北平軍大勝す

全大連の奮戰空し

十日の日　籠球戰

52—20

大連一中、二中の聯合軍を以て成る全大連對北平師範大學の日華對抗籠球戰は十日午後七時より大連神明高女屋内コートで擧行されたが、流石に見物は中國人の方が多く全大連の奮戰空しく五十二對二十にて北平軍の大勝となつた、試合は午後七時原山、レフエリー、大山アイパイヤー兩氏の審判にて開始

▲經過（前半）開始後五分北平軍は早くも羅伯等のゴール下のシユートに十點を得、その後大連軍のデフエンス固くマークよくして得點を喰止めたが、十二分後北平再び好調となり其後に十點を擧ぐ

（後半）開始後一分二十秒にして北平の得點早くもロングシユートも盛んに珍らしくも十點、その後も盛んに珍らしくも十點、その後分までに二十二點を得、大連軍は良く奮戰したが何分上背の優勢は既に北平軍に七分の利あり遂に恨を吞む、フリースローはノーマン等を加へて攻勢を緩めず十大連軍の方が確實であつた

（大連）	得點	反則
酒井	2	1
富田	0	1
森田	4	0
三浦	1	2
岩瀬	0	1
盛	3	1
FG	（8）	
FT	（12）	

北平師範大學 52（29、23）—20（9、11）全大連

（北平）	得點	反則
羅伯	12	2
[illegible]	9	0
[illegible]	10	2
[illegible]	4	0
[illegible]	0	2
[illegible]	2	0
[illegible]	5	4
[illegible]	0	1
FG	（48）	
FT	（4）	

なほ十一日は午後七時より同じく神明コートにて全大連對北平師範

關門地方の 暴風被害

【門司十日發電通】十日正午までに判明せる門司水上署管内難破船は帆船四、發動機船六、傳馬船六ボート五隻に達し、このほか積荷を海中に投じ危ふく沈沒を免れしもの數隻あるも何れも人命には異狀なかつた、尚風浪尙高く危險なるにより極力警戒中

球磨入港延期

十日旅順入港の豫定だつた第二遣外艦隊旗艦「球磨」は青島方面荒天のため延期、從つて旅順入港も未定となり尚十三日擧行の陸戰隊觀兵式も延期された

保線工場に強盗

九日午後五時半ごろ熊岳城驛と蘆家屯驛との間の保線宿舍に居住する元滿鐵保線工夫陳學周（四〇）方へ二人組の持兇器強盜侵入し、陳を脅迫の上金票二百圓、現大洋百六十三圓を強奪逃走した、屆出により瓦房店署では最近被害者が滿鐵を退職の際慰勞金を貰ひたるを知つた者等の犯行と睨み十日容疑者を檢擧し目下嚴重訊問中である

旅順氷上競技延期

十一日旅順富士町リンクに於て開催の豫定であつた第二回氷上競技選手權大會はリンク使用不能の爲め來る十八日午前十時より開催することになり、申込期限も從つて十七日まで延期されたその他競技種目參加制限資格等は以前の通り變更ない

スケート會

三井物産大連支店では今回大連彌生高等女學校前の同社テニスコートにスケート場を作つたので、その竣工披露を兼ね十一日午前十時から家族的スケート大會を開くこと、なつた、尙ほ同リンクは適當な人の紹介があれば社員以外の人誰でも自由に滑れること、なつてゐると

日曜の催物

▲救世軍大連小隊午前十時より聖別會演題「彼の苦難にあづかり」長井少校、午後七時半より救靈會演題「畫として見たる人生」石田曹長▲本願寺別院十一日晝より十六日晝まで例年の通り親鸞聖人正忌法要、毎日午前七時法要を午後二時法要並に說教をなす由

大連飲食店組 合臨時總會

十二日に開催

大連飲食店組合では十二日午後一時から臨時總會を開催、桑島組合長辭任に就き後任組合長の選擧を行ふ筈であるが、組合長には藤村喜平氏が推される模樣である、なほ當日は昭和信用組合の理事長及び役員の選擧を行ひ、引き續きさきに組織された全滿飲食店聯合會の會長及び大連本部の役員をも推戴する筈である

腰本慶應監督

本池選手と共に渡米

【東京十日發電通】慶應大學野球部の腰本監督及び本池選手は來る二十九日横濱出帆の春洋丸で既報の如く渡米し二月十三日サンフランシスコ着、職業選手の練習を見學しリーグ戰開始までに歸朝する筈である

大相撲春場所

三日目の勝負

【東京十日發電通】兩國國技館における春場所大相撲三日目勝負左の如し

勝	決り手	負
駒錦	寄り切り	晴の海
常盤野	はたき込	吉野山
大潮	下手投げ	外ケ濱
伊勢の濱	はたき込	鏡岩
寶川	寄り切り	大島
銚子灘	押し倒し	古賀ケ浦
若瀬川	突き出し	常陸島
出羽岳	突き出し	綾の濱
綾櫻	打ちやり	沖ツ海
肥州山	浴せ倒し	幡瀬川
錦洋	掬ひ投げ	山錦
武藏山	寄り切り	劍岳
信夫山	下手なげ	清水川
天龍	寄り切り	若葉山
朝汐	寄り倒し	和歌島
大の里	突き放し	太郎山
玉錦	寄り倒し	新海
常陸岩	寄り切り	眞鶴
能代潟	下手捻り	藤の里
玉碇	押し出し	宮城山

四日目 取組

（打ち出し午後五時四十五分）

【東京十日發電通】大相撲春場所四日目の取組左の如し

大島（外ケ濱）伊勢ノ海　駒錦（吉野）寶川　星甲（大潮）　出羽岳（常盤野）銚子灘　沖の海（鏡岩）劍岳　常陸島（綾ノ濱）　干碇（肥州山）綾櫻　古賀浦（和歌ノ島）　太郎山（若瀬川）清水川　武藏山（新海）能代潟　眞鶴（朝汐）天龍　信夫山（幡瀬川）　大ノ里（常ノ岩）宮城山　錦洋（藤ノ里）山錦　玉錦（若葉山）

大連 JQAK

十一日午後六時

▲ラヂオ體操　▲講談　以下内地中繼（六時二〇—三〇）　▲浪花節　赤垣源藏　東家樂燕　▲俚謠（札幌）追分節　金森儀七外數名　▲連續講談　笹野權三郎第四席大島伯鶴　以下大連放送局より　▲料理獻立　▲天氣豫報

虹と兜虫（八）

龍膽寺雄作　一木弴畫

兜島に住む人たち（八）

「多分たちさん蟹仙窟へ寄つたのかも知れない」

鯰は顔を洗ひ終へると、あさの溢れた清水を岩の窪みから凍えた指でしやくひ出して、――瑠璃に言ふんでした。

……歸ると直にもう御飯でせう？たちさんはどうせ味噌桶で朝御飯を食べるなんざ平氣ですからね」

「味噌桶ッてなアに？」

「だから、寢起きのまんま顔も洗はないのを言ふんです。……」

「ぢや、あたくしも味噌桶ね」

「ま、味噌桶ですれ」